

鎌ヶ谷市の環境に関する 意識調査報告書

令和 4 年 1 月
株式会社 知識経営研究所

目 次

1 調査の概要	1
1-1 目的	1
1-2 調査対象・調査方法	1
1-3 調査項目	2
2 市民アンケート調査の結果	3
2-1 回答者の属性について	3
(1) 年齢	3
(2) 居住年数	3
(3) 居住地域	3
(4) 住居の形態	4
(5) 世帯構成	4
(6) 車の所有台数	4
2-2 鎌ヶ谷市の環境について	5
(1) 鎌ヶ谷市の環境に関する満足度（全体）	5
(2) 鎌ヶ谷市の環境に関する満足度（地域別）	7
2-3 環境に関する取組について	18
(1) 普段取り組んでいる環境活動	18
(2) 環境活動への参加状況	20
2-4 昨今の環境問題について	21
(1) 気候変動対策に関連する設備機器等の導入状況	21
(2) 気候変動の影響に対する意識	23
(3) 市が重点的に進めるべき気候変動対策	24
(4) 市が重点的に取り組むべき生物多様性の保全	26
(5) 将来残したい鎌ヶ谷市の自然や環境	27
2-5 市の環境施策について	29
(1) 市の環境情報の入手方法	29
(2) 市が重点的に取り組むべき環境対策	31
2-6 自由意見	34
3 事業者アンケート調査の結果	36
3-1 事業所の属性について	36
(1) 業種	36
(2) 従業員規模	36
(3) 所在地	36
(4) 建物の形態	37
(5) 鎌ヶ谷市での事業年数	37
3-2 事業所における環境の取組について	38
(1) 事業所で取り組んでいる環境活動	38
(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況	40

3-3 環境活動における効果と課題、必要な支援について	42
(1) 環境活動で得られた効果	42
(2) 環境活動を進めるにあたっての課題	43
(3) 市が実施すると望ましいサポート	44
3-4 地域の環境活動について	45
(1) 取り組んでいる地域環境活動	45
(2) 協力、支援できる活動分野	46
(3) 協力、支援できる取組	47
3-5 気候変動対策について	48
(1) 脱炭素経営の認知度	48
(2) 市が重点的に進めるべき気候変動対策	49
3-6 自由意見	50
4 調査結果のまとめ	51
4-1 市民意識調査結果	51
4-2 事業者意識調査結果	52

巻末資料

①市民アンケート調査票	資-1
②事業者アンケート調査票	資-9

1 調査の概要

1-1 目的

鎌ケ谷市では、「鎌ケ谷市環境基本計画」と「地球温暖化対策実行計画（区域施策）」を策定し、環境の保全と地球温暖化対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

現計画の期間が満了を迎えることと、昨今の国内外の気候変動対策の変化を受け、「地球温暖化対策事項計画（区域施策）」を包含した令和 5 年度を初年度とする「鎌ケ谷市第 3 次環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民・事業者の環境活動への取組状況や課題、今後の取組の可能性等を把握し、計画へ反映させるために、アンケート調査を実施しました。

1-2 調査対象・調査方法

	市民	事業者
調査対象	鎌ケ谷市に住む満 18 歳以上の 2,000 人	鎌ケ谷市内の事業所 200 か所
抽出法	「住民基本台帳」からの無作為抽出	総務省の事業者データからの無作為抽出
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答	
調査期間	令和 3 年 10 月 11 日～10 月 29 日	
配布数	2,000	200
回収数 (うち WEB 回答)	871 (190)	55 (9)
回収率	43.6%	27.5%

※郵送回答は令和 3 年 11 月 12 日到着分まで、WEB 回答は令和 3 年 11 月 4 日 17 時回答分までを回収数に含めています。

1-3 調査項目

市民	事業者
①鎌ケ谷市の環境に関する満足度	①事業所で取り組んでいる環境活動
②普段取り組んでいる環境活動	②地球温暖化対策設備機器の導入状況
③環境活動への参加状況	③環境活動で得られた効果
④気候変動対策に関連する設備機器等の導入状況	④環境活動を進めるにあたっての課題
⑤気候変動の影響に対する意識	⑤市が実施すると望ましいサポート
⑥市が重点的に進めるべき気候変動対策	⑥取り組んでいる地域環境活動
⑦市が重点的に取り組むべき生物多様性の保全	⑦協力、支援できる活動分野
⑧将来に残したい鎌ケ谷市の自然や環境	⑧協力、支援できる取組
⑨市の環境情報の入手方法	⑨脱炭素経営の認知度
⑩市が重点的に取り組むべき環境対策	⑩市が重点的に進めるべき気候変動対策

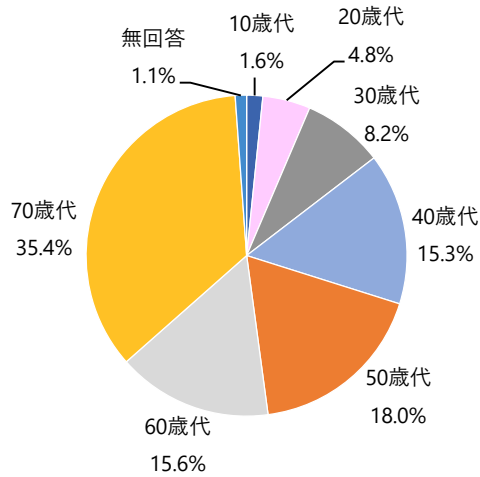
※集計にあたっての留意点

- ・回答結果は、小数第2位を四捨五入の上、割合を示しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、全体の回答数に対する割合を示しているため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・各設問において、回答の記入がないものについては「無回答」、回答が識別できないものについては、「不明」として扱っています。

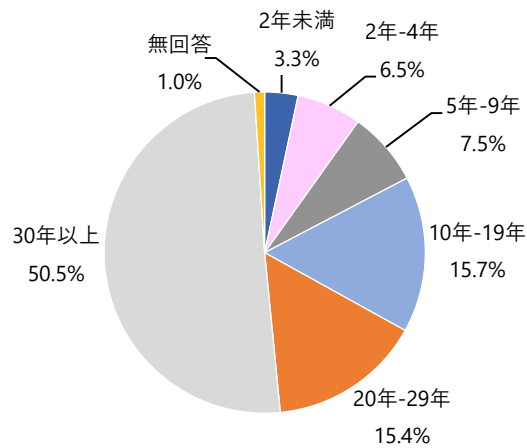
2 市民アンケート調査の結果

2-1 回答者の属性について

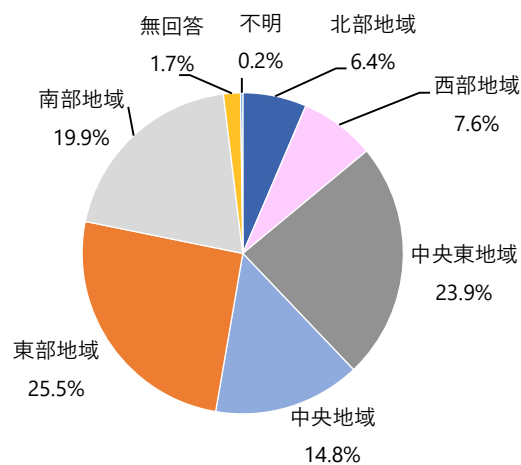
(1) 年齢



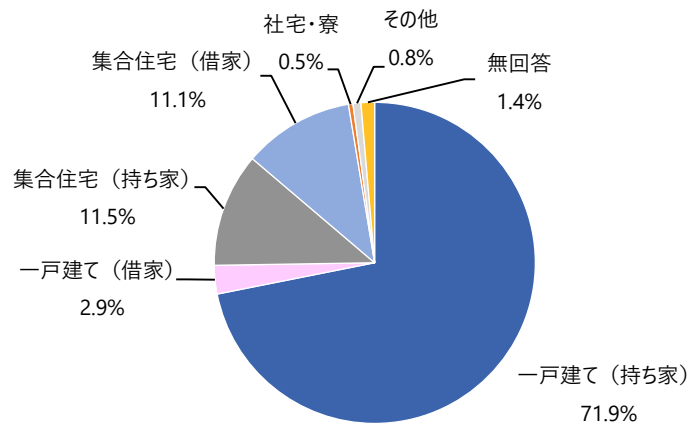
(2) 居住年数



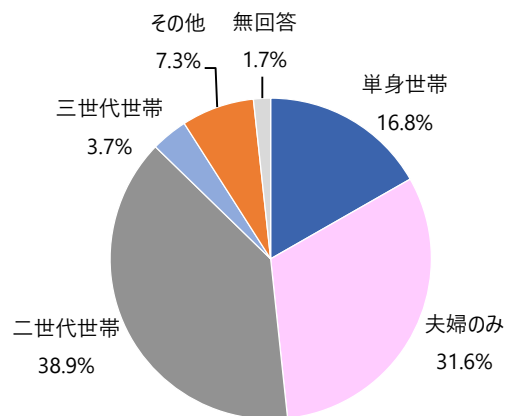
(3) 居住地域



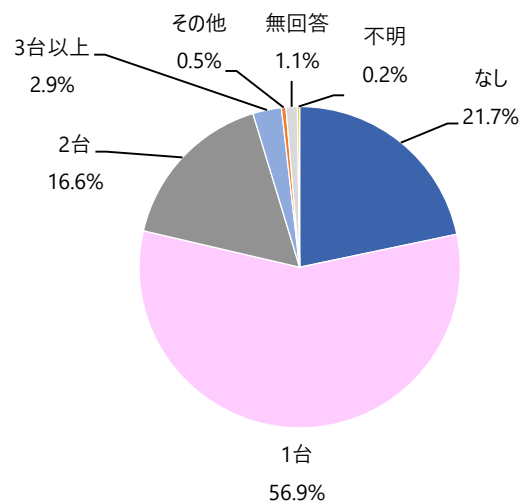
(4) 住居の形態



(5) 世帯構成



(6) 車の所有台数



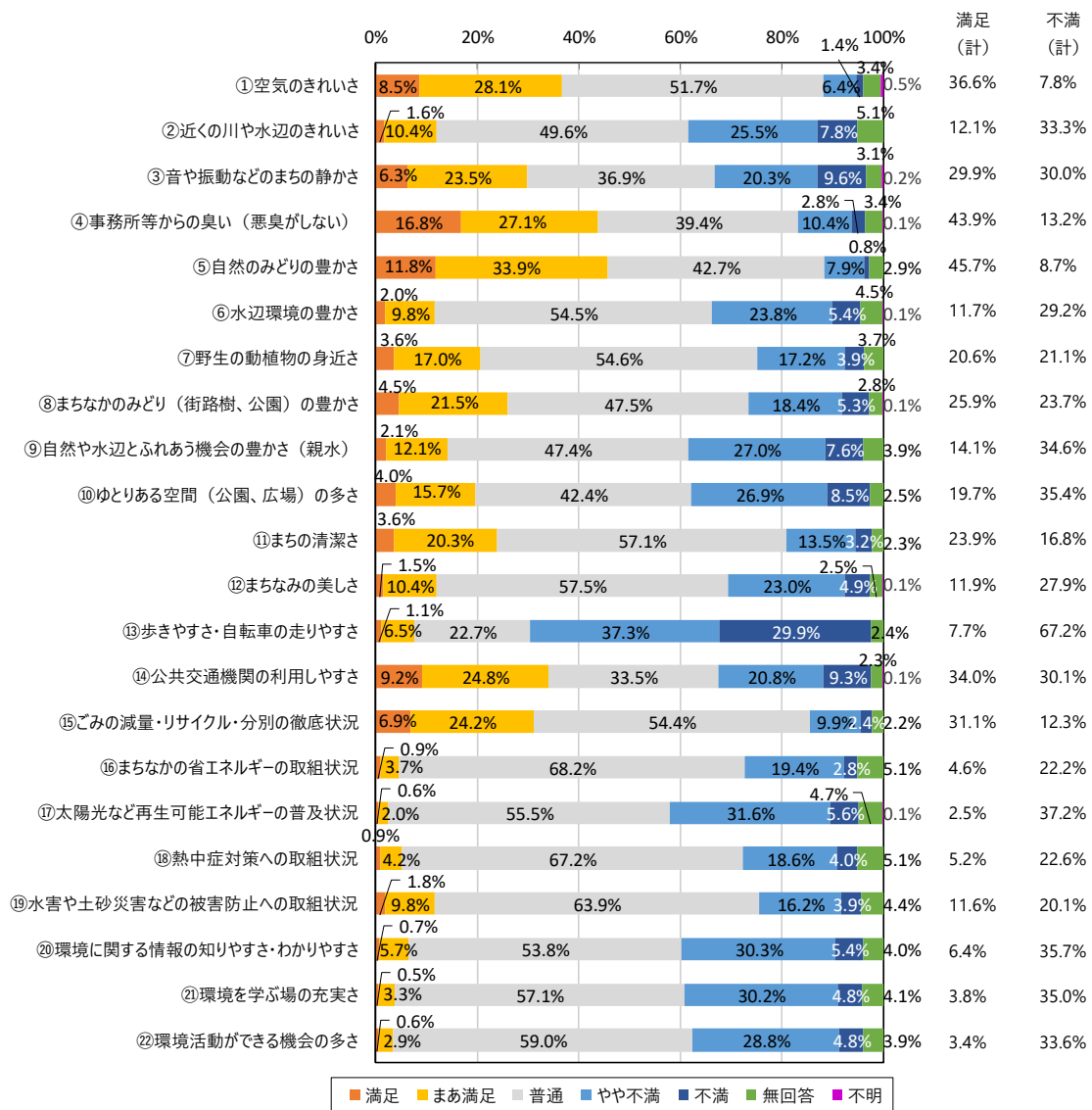
2-2 鎌ヶ谷市の環境について

(1) 鎌ヶ谷市の環境に関する満足度（全体）

問7 鎌ヶ谷市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度について、あてはまる番号 1~5 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

鎌ヶ谷市の環境についての満足度を聞いたところ、『満足（計）』（「満足」「まあ満足」の合計）の回答が多かったのは、「⑤自然のみどりの豊かさ（45.7%）」、「④事務所等からの臭い（悪臭がしない）（43.9%）」であり、4割以上の方が満足と感じています。また、「①空気のきれいさ（36.6%）」、「⑭公共交通機関の利用しやすさ（34.0%）」、「⑭ごみの減量・リサイクル・分別の徹底状況（31.1%）」は3割以上の方が満足と感じています。

一方、『不満（計）』（「やや不満」「不満」の合計）については、「⑬歩きやすさ・自転車の走りやすさ（67.2%）」が最も多く、多くの市民が徒歩や自転車を利用する上での、安全で快適な交通環境を求めていると考えられます。次いで、「⑯太陽光など再生可能エネルギーの普及状況（37.2%）」の回答が多く、昨今の脱炭素に向けた社会的意識の高まりを受け、市民の意識も高くなっており、再生可能エネルギーの更なる普及を望む人が増えていると考えられます。また、「⑳環境に関する情報の知りやすさ・わかりやすさ（35.7%）」「㉑環境を学ぶ場の充実さ（35.0%）」、「㉒環境活動ができる機会の多さ（33.6%）」と環境に関する情報提供や環境活動や学習の機会の充実に対する回答も多く、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、市民参加型の環境活動や環境学習の機会が減少していることが考えられ、with コロナ、after コロナの状況においても市民が取り組むことができる環境活動や環境学習の形態、またそれらを含む環境に関する情報発信の仕方の工夫が必要であると考えられます。

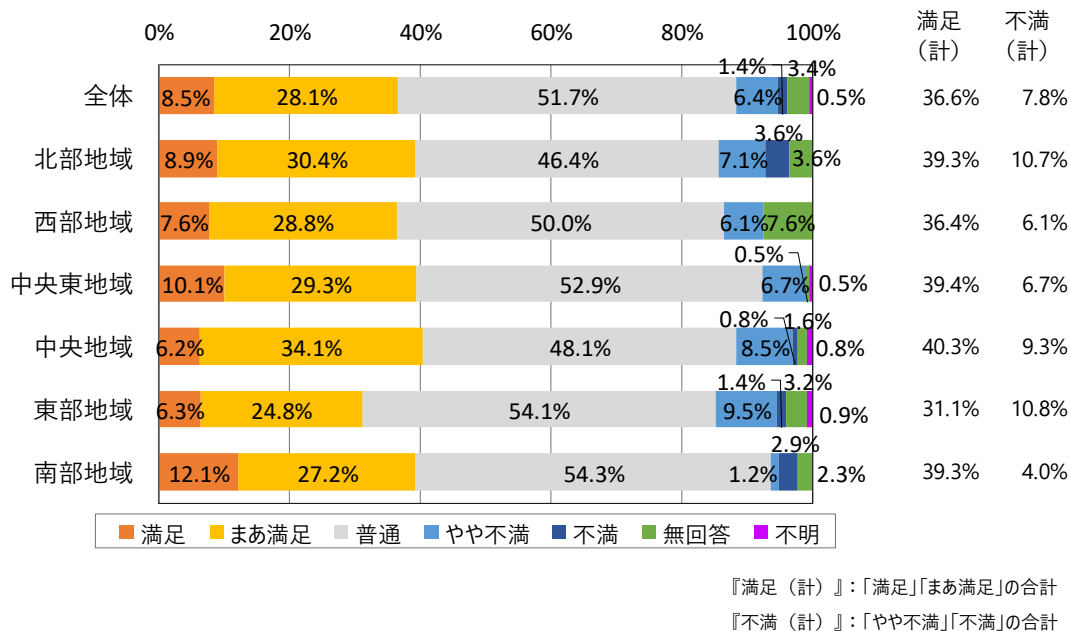


『満足 (計)』: 「満足」「まあ満足」の合計
『不満 (計)』: 「やや不満」「不満」の合計

(2) 鎌ヶ谷市の環境に関する満足度（地域別）

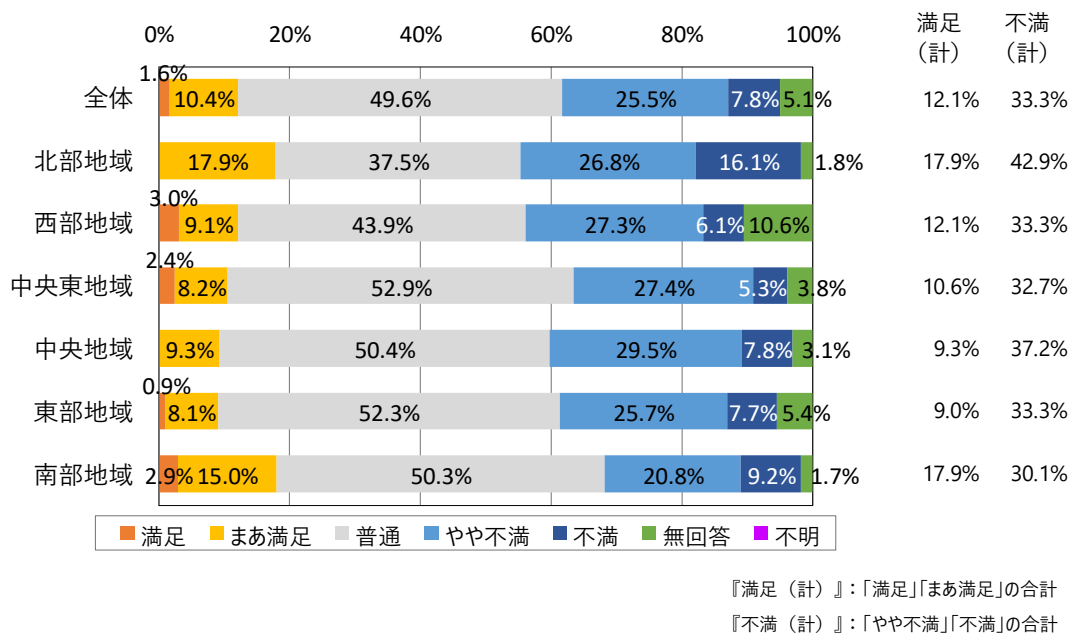
①空気のきれいさ

『満足（計）』と回答した割合は、全体に対して大きく満足度が高い地域はみられませんでした。また、『不満（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。



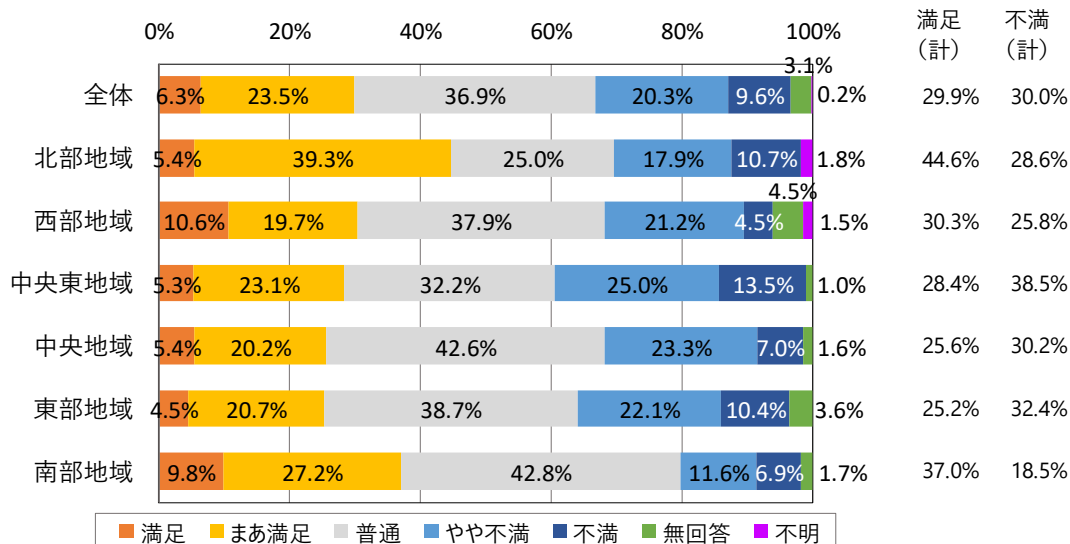
②近くの川や水辺のきれいさ

『満足（計）』と回答した割合は、**北部地域**と**南部地域**で全体に対しやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



③音や振動などのまちの静かさ

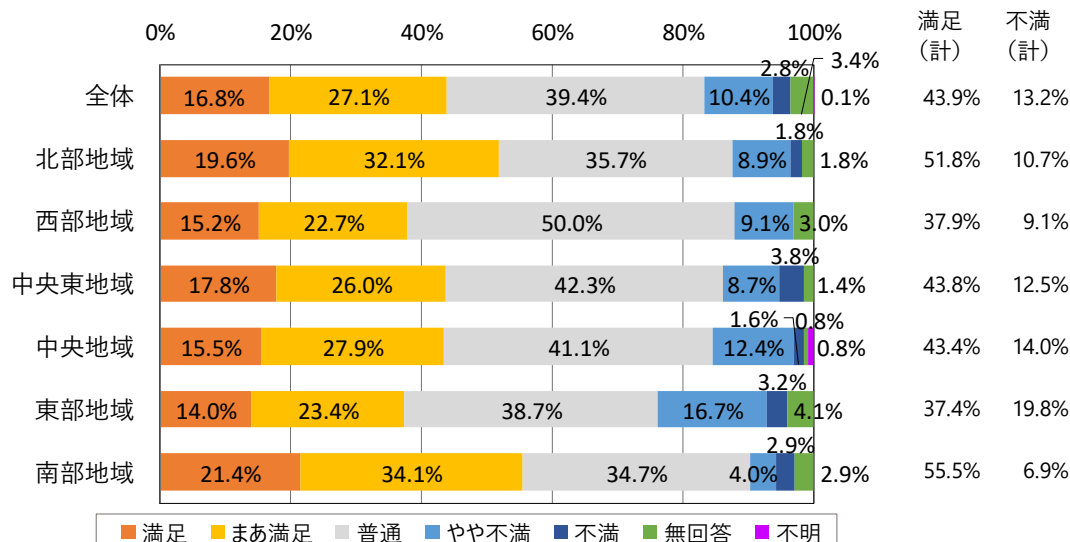
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し**北部地域**で高く、**南部地域**でやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**中央東地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

④事業所等からの臭い（悪臭がしない）

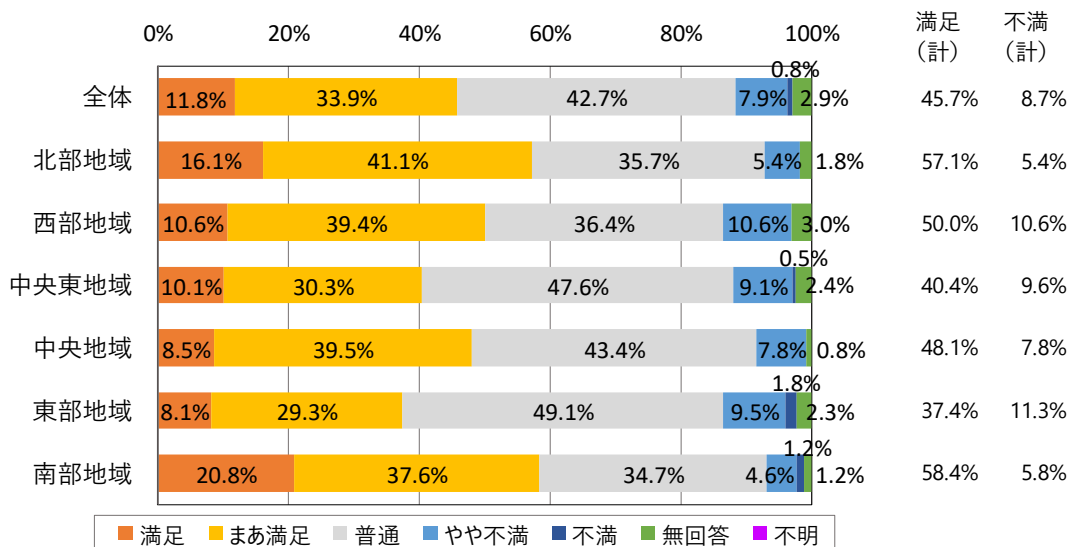
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し**南部地域**で高く、**北部地域**でやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**東部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑤自然のみどりの豊かさ

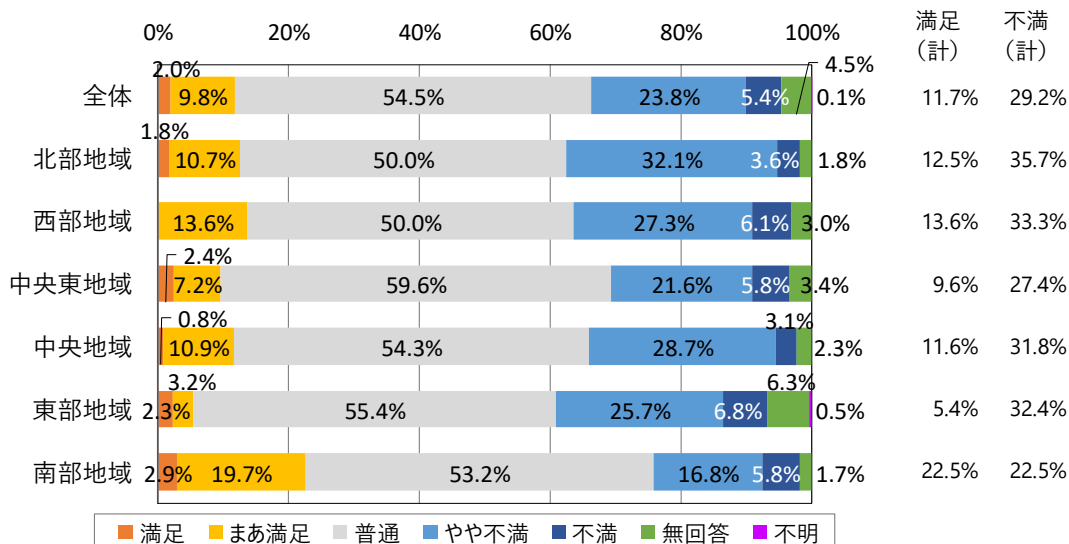
『満足(計)』と回答した割合は、**南部地域**と**北部地域**で全体に対し高くなっています。一方、『不満(計)』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。



『満足(計)』: 「満足」「まあ満足」の合計
『不満(計)』: 「やや不満」「不満」の合計

⑥水辺環境の豊かさ

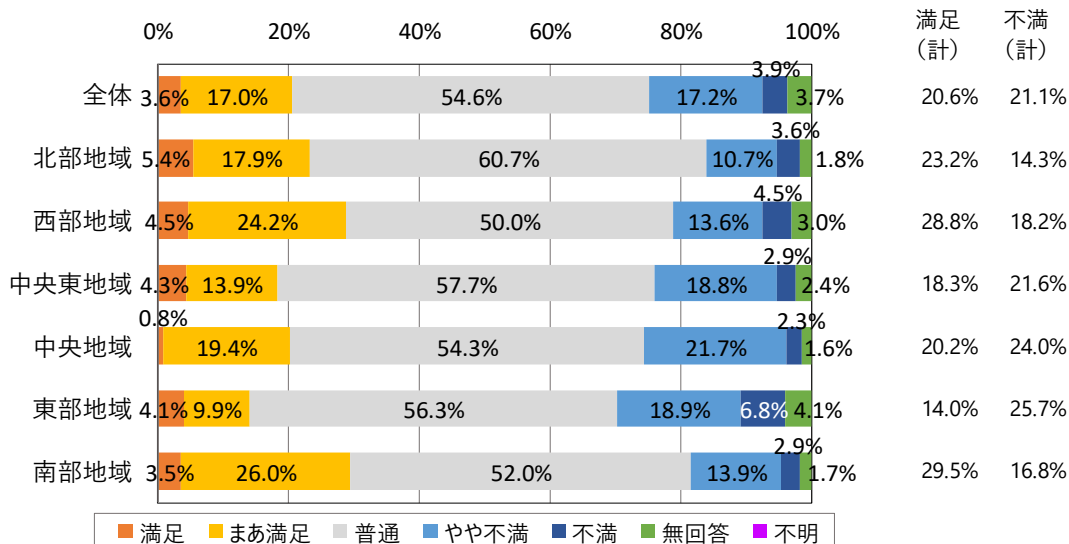
『満足(計)』と回答した割合は、**南部地域**で全体に対し高くなっています。一方、『不満(計)』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足(計)』: 「満足」「まあ満足」の合計
『不満(計)』: 「やや不満」「不満」の合計

⑦野生の動植物の身近さ

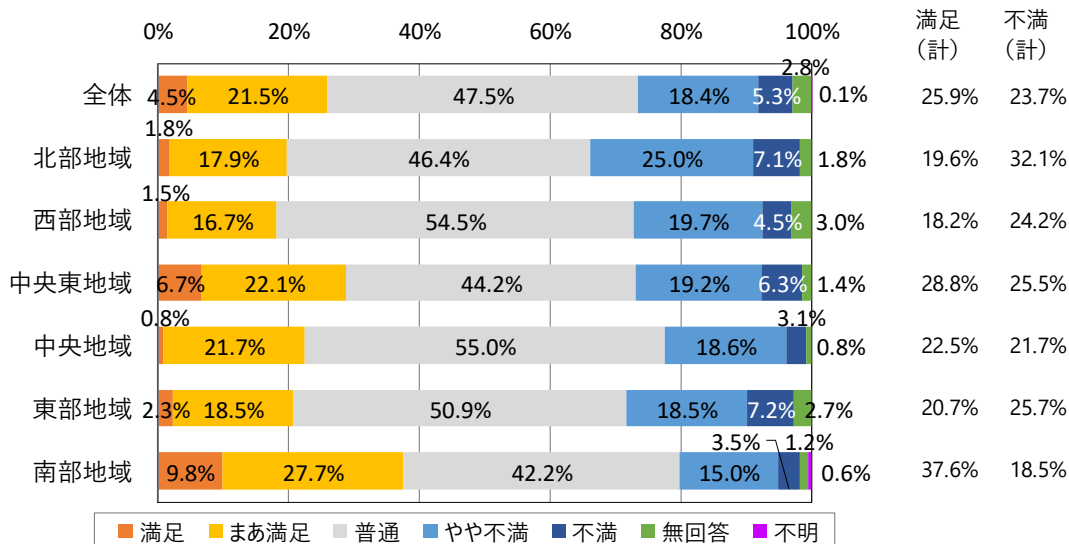
『満足（計）』と回答した割合は、**南部地域**と**西部地域**で全体に対しやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、全体に対して大きく不満度が高い地域はみられませんでした



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑧まちなかのみどり（街路樹、公園）の豊かさ

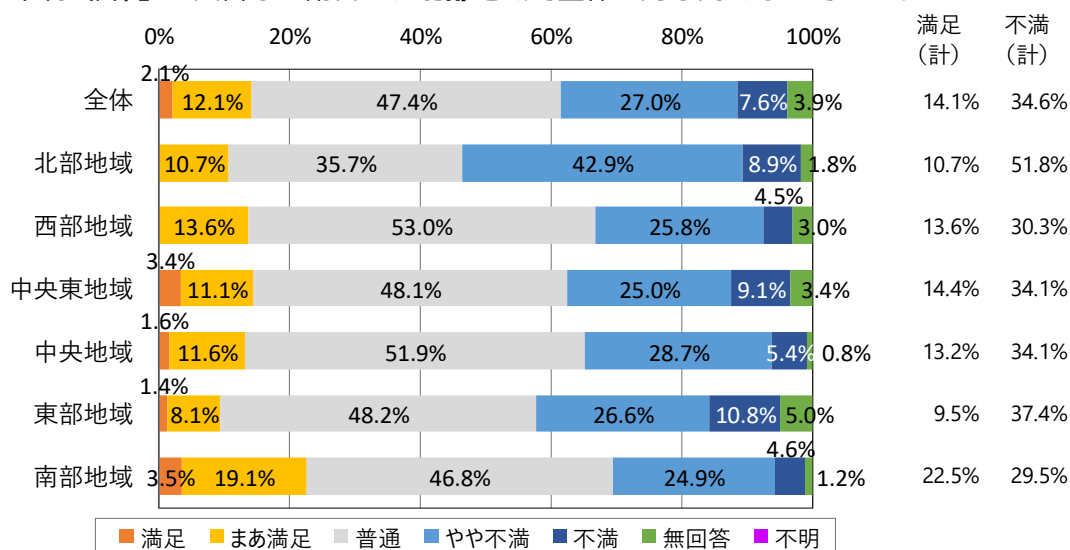
『満足（計）』と回答した割合は、**南部地区**で全体に対し高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑨自然や水辺とふれあう機会の豊かさ（親水）

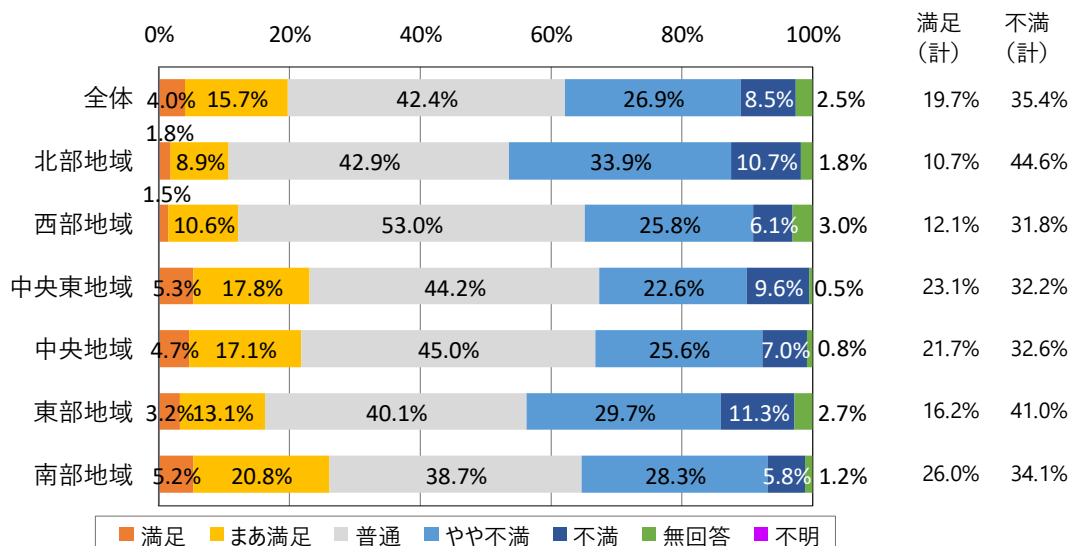
『満足（計）』と回答した割合は、**南部地域**で全体に対しやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対し高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑩ゆとりのある空間（公園、広場）の多さ

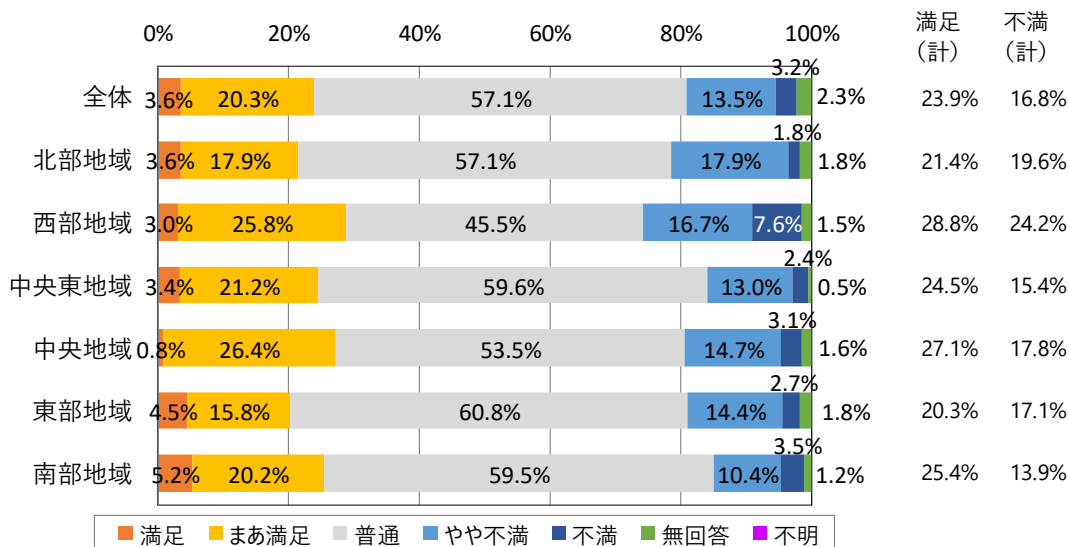
『満足（計）』と回答した割合は、**南部地域**で全体に対しやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**と**東部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑪まちの清潔さ

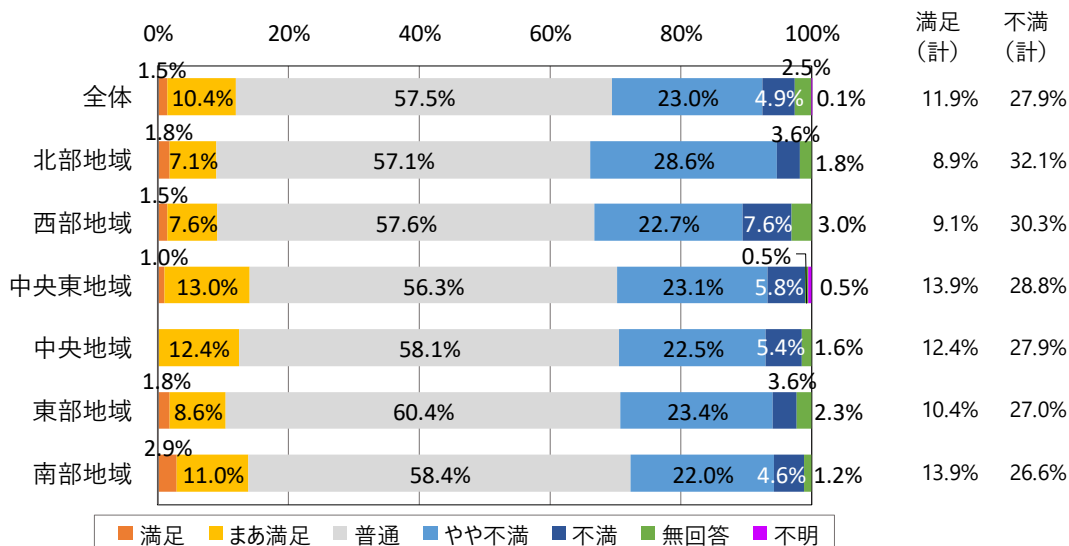
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**西部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑫まちなみの美しさ

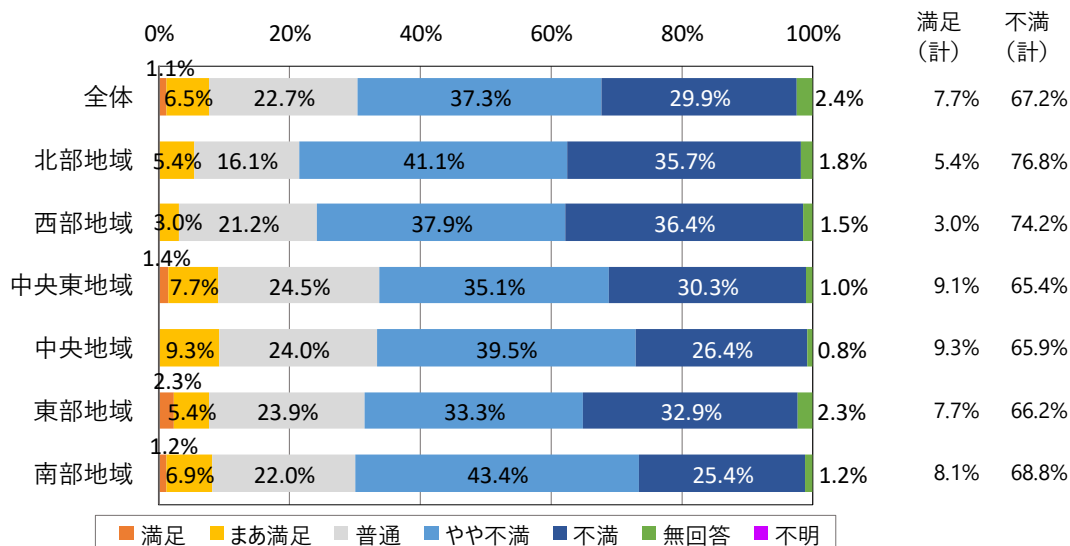
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。また、『不満（計）』と回答した割合も、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑬歩きやすさ・自転車の走りやすさ

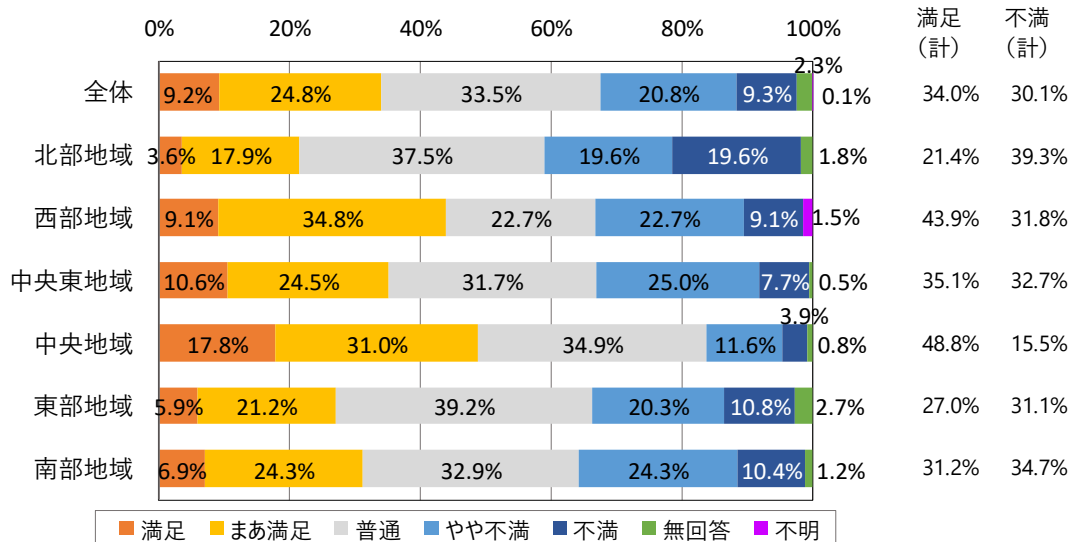
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**と**西部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑭公共交通機関の利用しやすさ

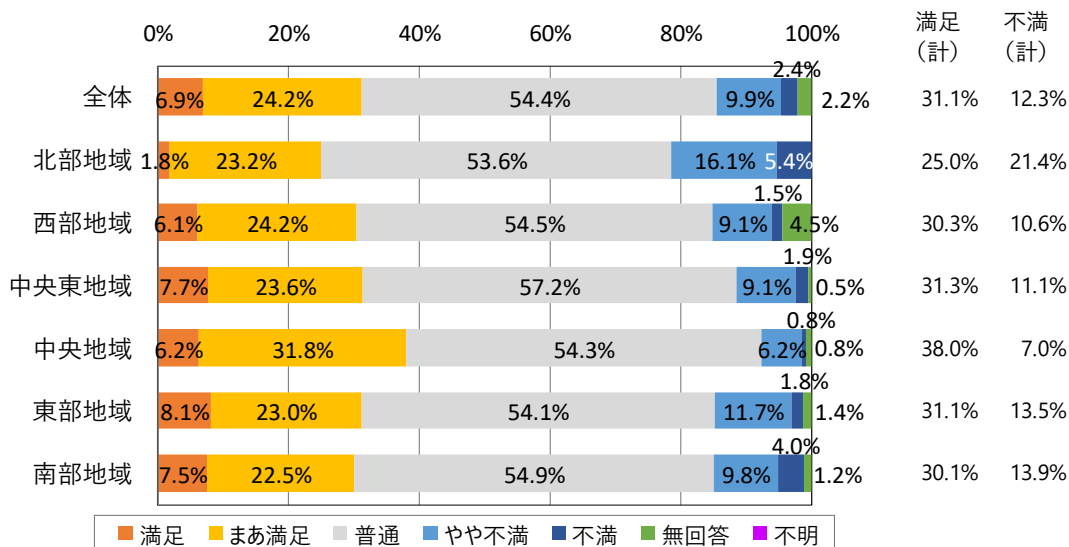
『満足（計）』と回答した割合は、**中央地域**と**西部地域**で全体に対し高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑮ごみの減量・リサイクル・分別の徹底状況

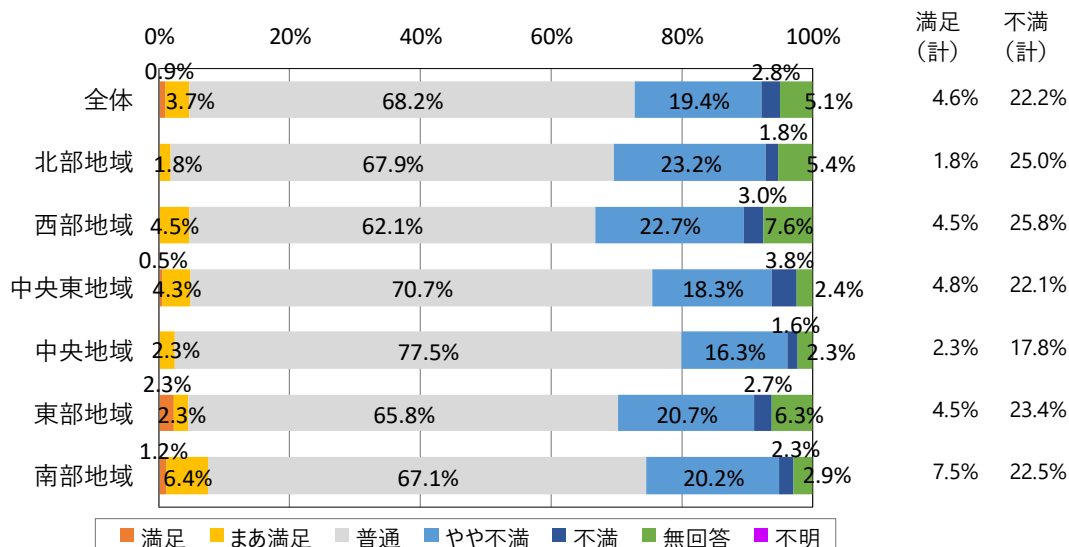
『満足（計）』と回答した割合は、**中央地域**で全体に対しやや高くなっています。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対し高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑯まちなかの省エネルギーの取組状況

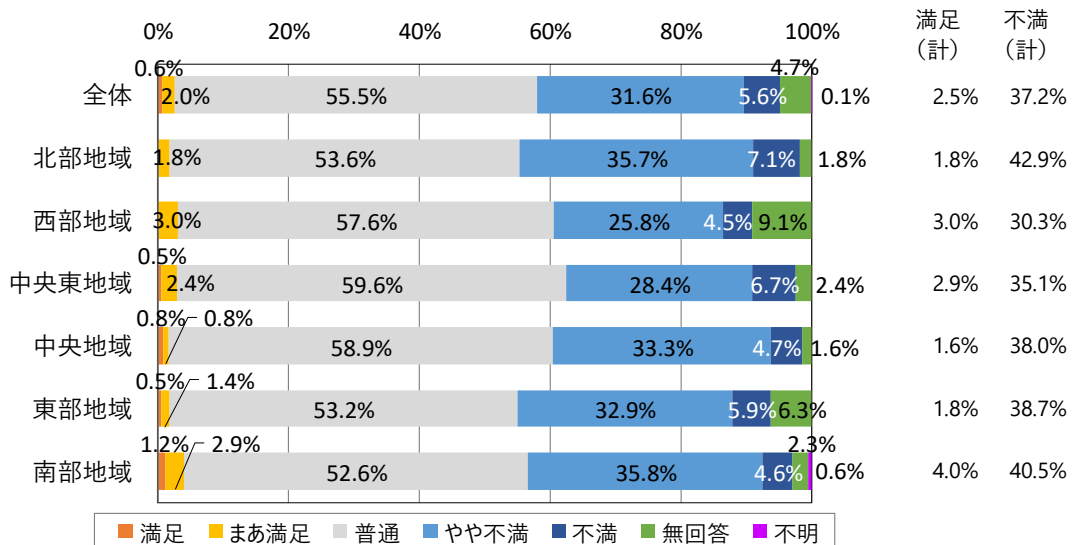
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。また、『不満（計）』と回答した割合も、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑰太陽光など再生可能エネルギーの普及状況

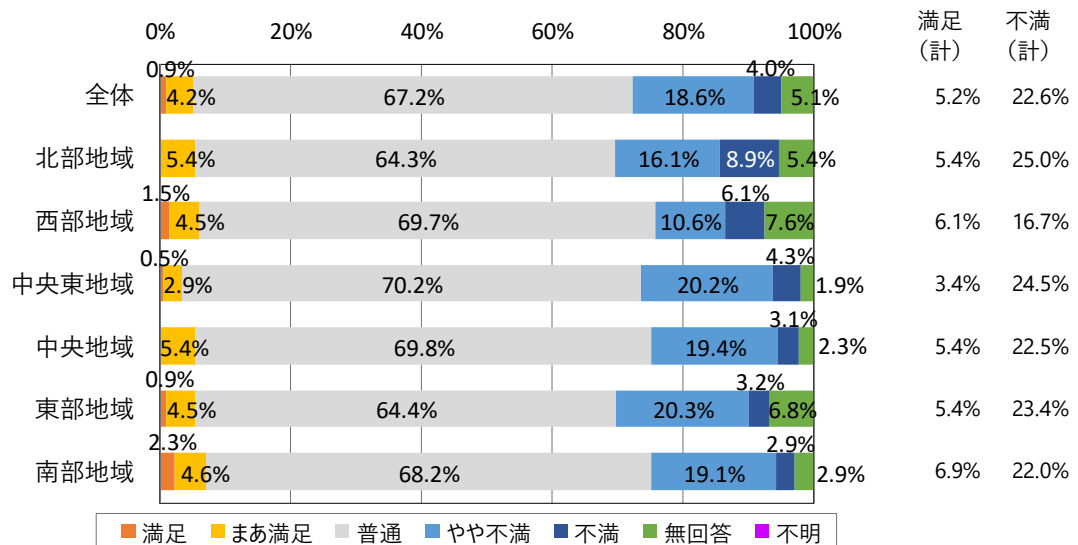
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑱熱中症対策への取組状況

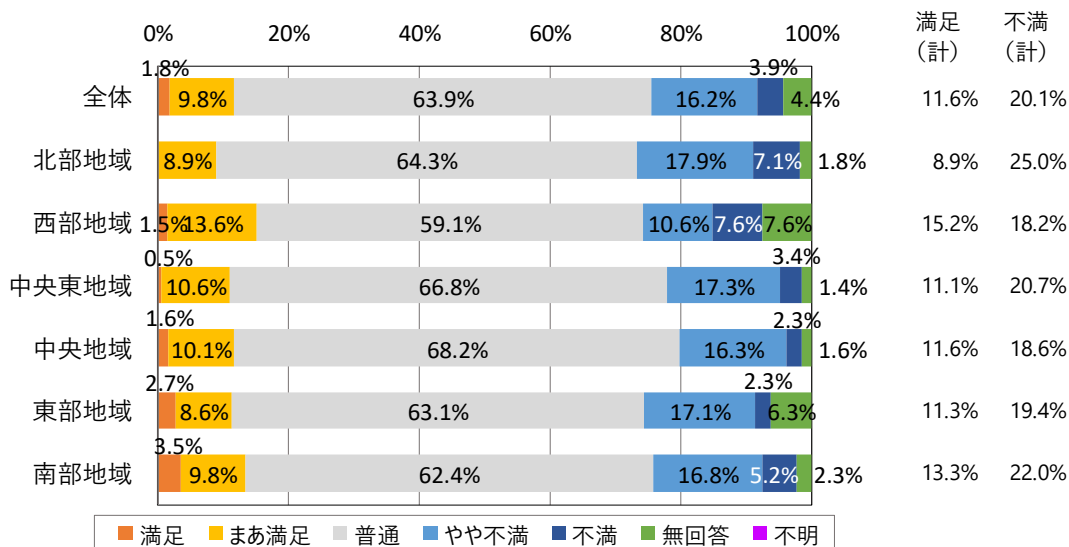
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。また、『不満（計）』と回答した割合は、全体に対して大きく不満度が高い地域はみられませんでした。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑱水害や土砂災害などの被害防止への取組状況

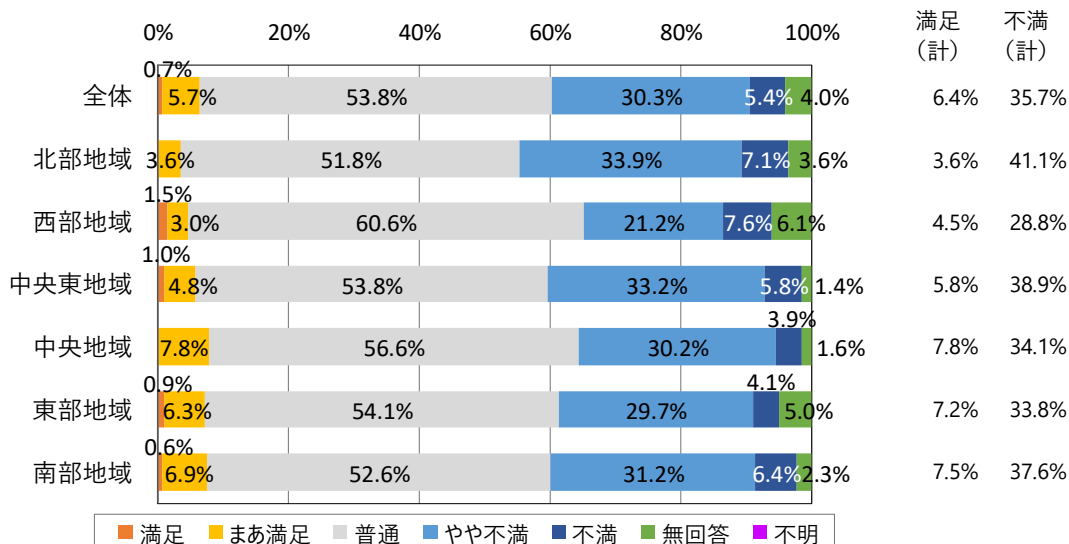
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。また、『不満（計）』と回答した割合も、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑳環境に関する情報の知りやすさ・わかりやすさ

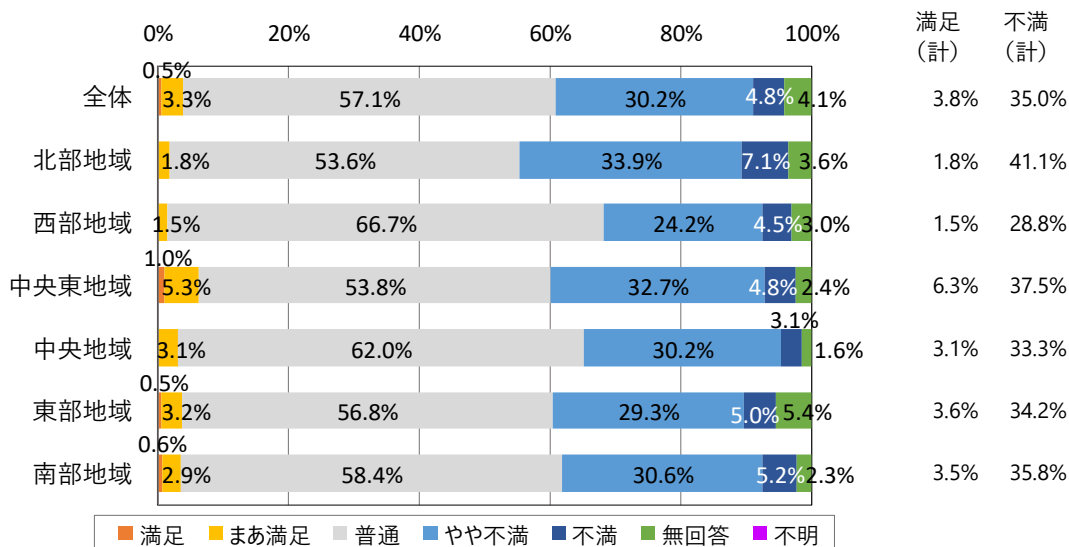
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

④環境を学ぶ場の充実さ

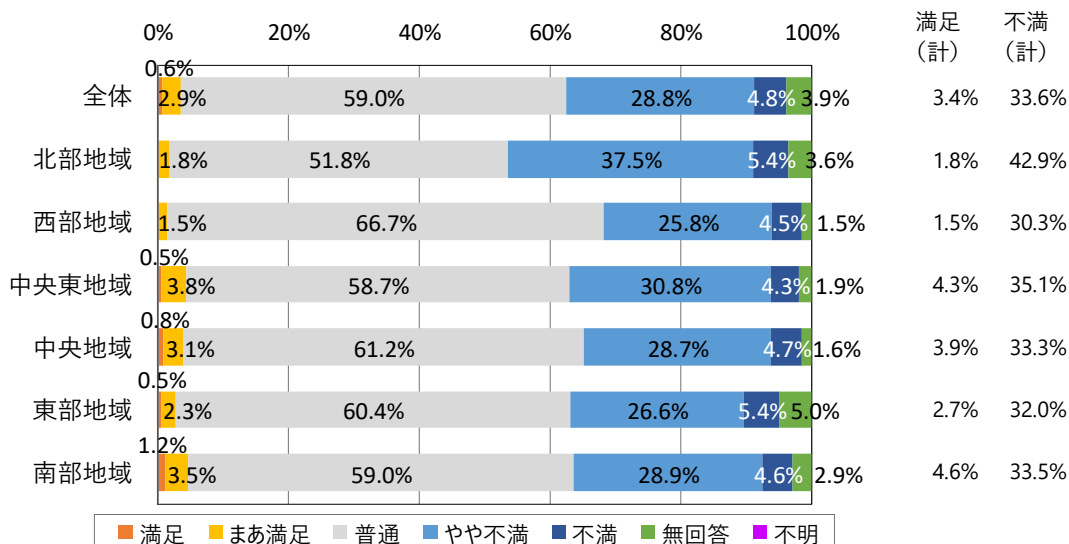
『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

④環境活動ができる機会の多さ

『満足（計）』と回答した割合は、全体に対し地域差はあまりみられませんでした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**北部地域**で全体に対しやや高くなっています。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計
『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

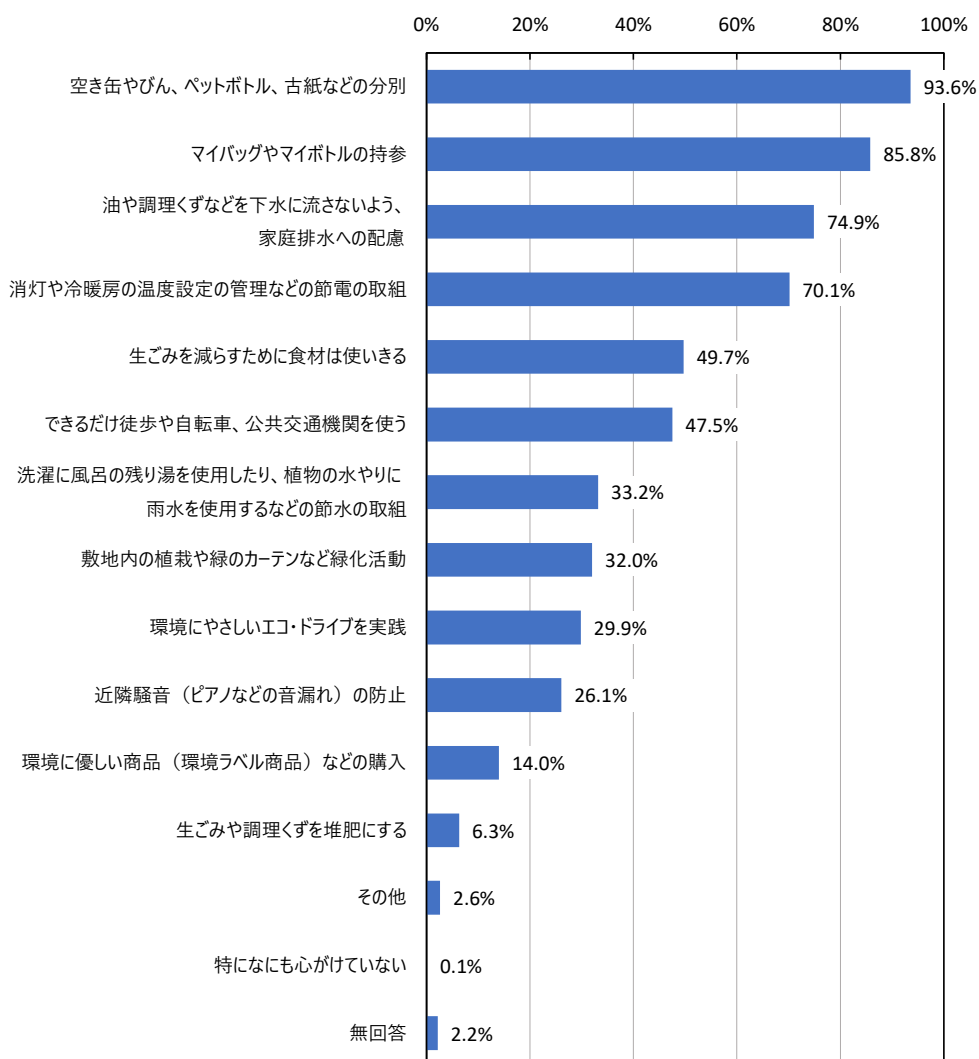
2-3 環境に関する取組について

(1) 普段取り組んでいる環境活動

問8 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

普段取り組んでいる環境活動について聞いたところ、「空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの分別（93.6%）」が最も多く、9割以上の人に取り組んでいます。次いで「マイバッグやマイボトルの持参（85.8%）」、「油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮（74.9%）」、「消灯や冷暖房の温度設定の管理などの節電の取組（70.1%）」となっており、いずれも7割以上の人に取り組んでいます。これらの環境活動は、多くの市民の生活の中に定着していると考えられます。

一方、「環境に優しい商品（環境ラベル商品）などの購入（14.0%）」、「生ごみや調理くずを堆肥にする（6.3%）」は実施率が低くなっています。



◆その他回答

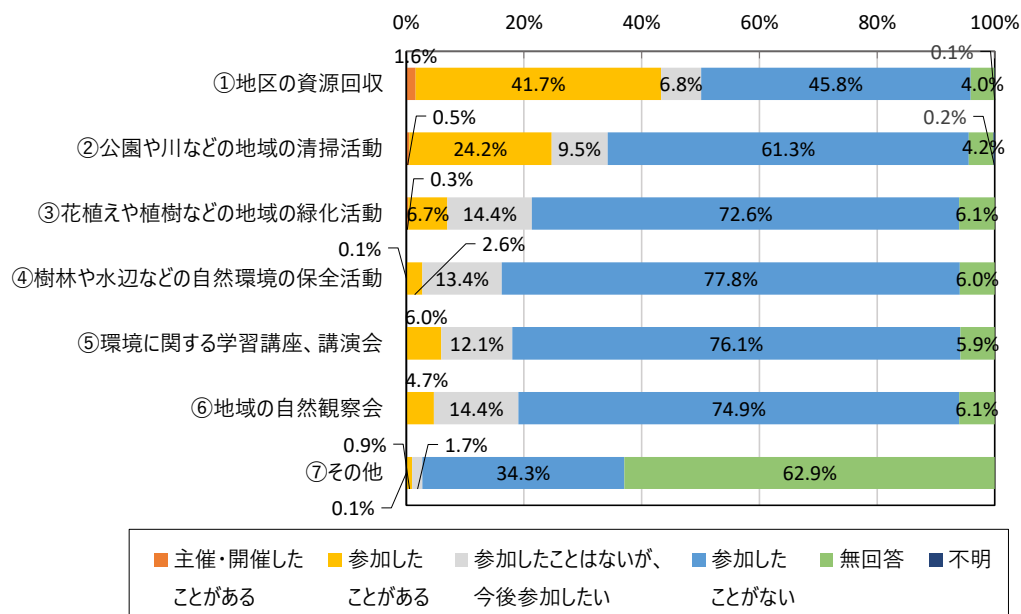
- 自宅前、周辺の清掃
- 5月30日ゴミゼロ運動への参加
- ごみの分別に特に気を付ける
- 野生生物保護の観点から、自宅周辺のごみ（特にプラスチック）を拾い、捨てる
- 環境美化推進委員会への協力
- ベランダでタバコを吸わない
- 犬の鳴き声クリーナーの使用
- 太陽光パネルの設置、ハイブリットカーの購入
- 米のとぎ汁が出ないよう無洗米の購入
- 物を買う際に、廃棄の方法の便利さや楽しさを考えてから購入
- エシカルでサステナブルな商品の販売

など

(2) 環境活動への参加状況

問9 あなたは、これまでに環境に係わる活動に参加したことがありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

環境活動への参加状況を聞いたところ、『参加したことがある』は「①地区の資源回収(41.7%)」が最も多く、次いで「②公園や川などの地域の清掃活動(24.2%)」となっています。「①地区の資源回収」は、『主催・開催したことがある』と回答した人も最も多い環境活動ですが、その割合は1.6%であり、自ら先頭に立って環境活動を実施する人は限られていると考えられます。また、「③花植えや植樹などの地域の緑化活動」、「④樹林や水辺などの自然環境の保全活動」、「⑤環境に関する学習講座、講演会」、「⑥地域の自然観察会」では、『参加したことがある』と回答した人が1割に満たないものの、『参加したことはないが、今後参加したい』と回答した人がいずれも1割を超えており、それぞれの活動の実施方法(内容、時期、場所等)や周知方法によっては、今後、これらの活動への市民の参加率が高まる可能性があると考えられます。



◆その他回答

- 地域のゴミを拾う、地域のゴミゼロ運動に参加
- ゴミ美化運動の草かり
- Pボラ(父親主体のボランティア活動、学校周辺の清掃活動)
- 個人的に近くの歩道のゴミ・タバコのすいがらや落葉の掃除
- 釣りに行った際に湖面に捨てられたペットボトルの回収の実施
- 公園の草刈り
- フリーマーケット
- ファッションロスへの取組としてリメイクコンテストに参加

など

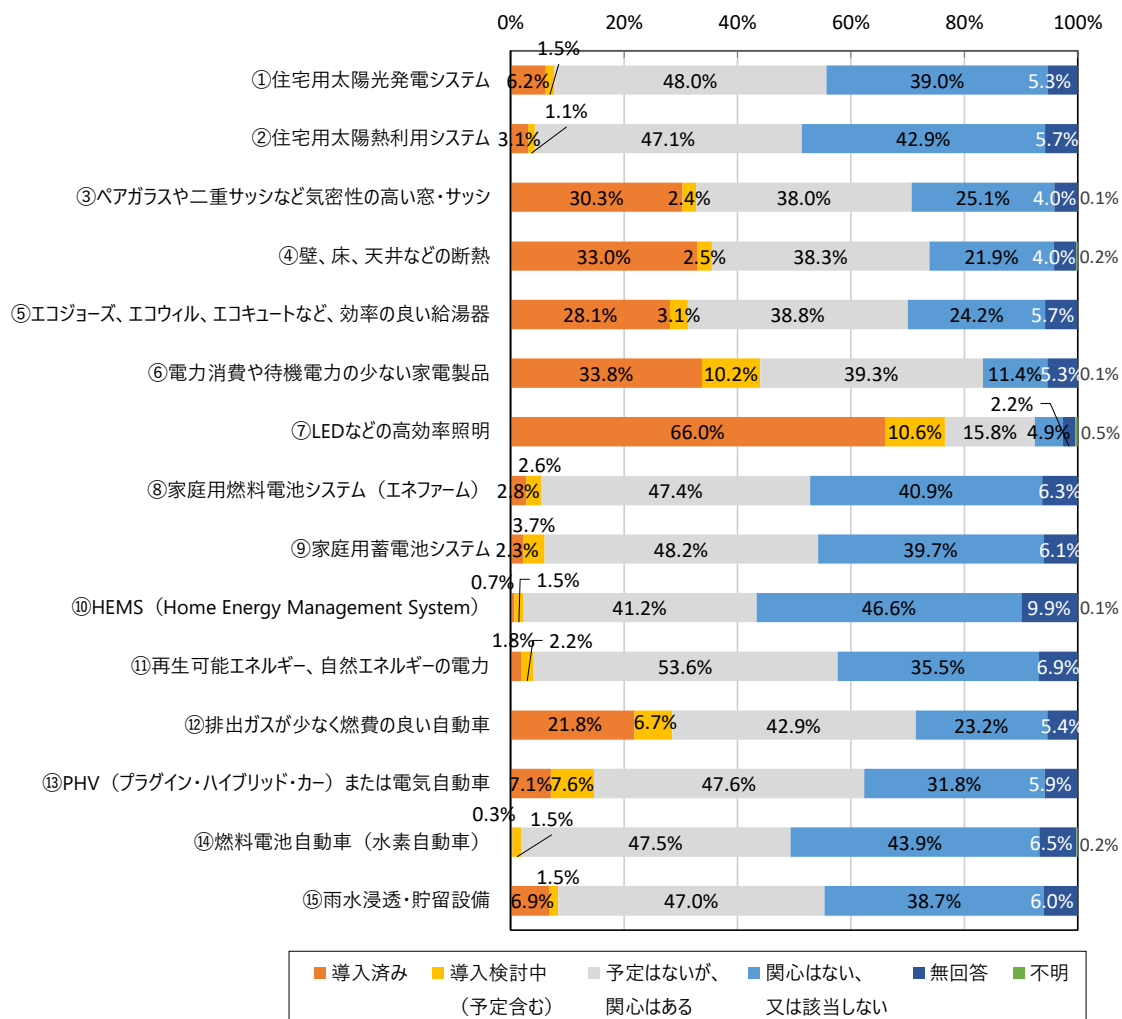
2-4 昨今の環境問題について

(1) 気候変動対策に関連する設備機器等の導入状況

問 10 気候変動対策につながる次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済み』は「⑦LEDなどの高効率照明(66.0%)」が最も多く、「⑥電力消費や待機電力の少ない家電製品(33.8%)」、「④壁、床、天井などの断熱(33.0%)」、「③ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ(30.3%)」、「⑤エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器(28.1%)」、「⑫排出ガスが少なく燃費の良い自動車(21.8%)」と続いています。『導入検討中(予定含む)』の回答率は、「⑦LEDなどの高効率照明(10.6%)」、「⑥電力消費や待機電力の少ない家電製品(10.2%)」、「⑬PHV(プラグイン・ハイブリッド・カー)または電気自動車(7.6%)」、「⑫排出ガスが少なく燃費の良い自動車(6.7%)」の順で高く、導入や設置に工事の必要がなく住居形態によらない機器・製品や自動車関係の項目は、買い替えのタイミングで気候変動対策につながるものを購入しようとする傾向が高いと考えられます。

また、『予定はないが、関心はある』と回答した割合が高かったのは、「⑪再生可能エネルギー、自然エネルギーの電力(53.6%)」であり、設備機器等の導入や更新が必要なく実施できる脱炭素に向けた取組として関心が高まっていることが考えられます。

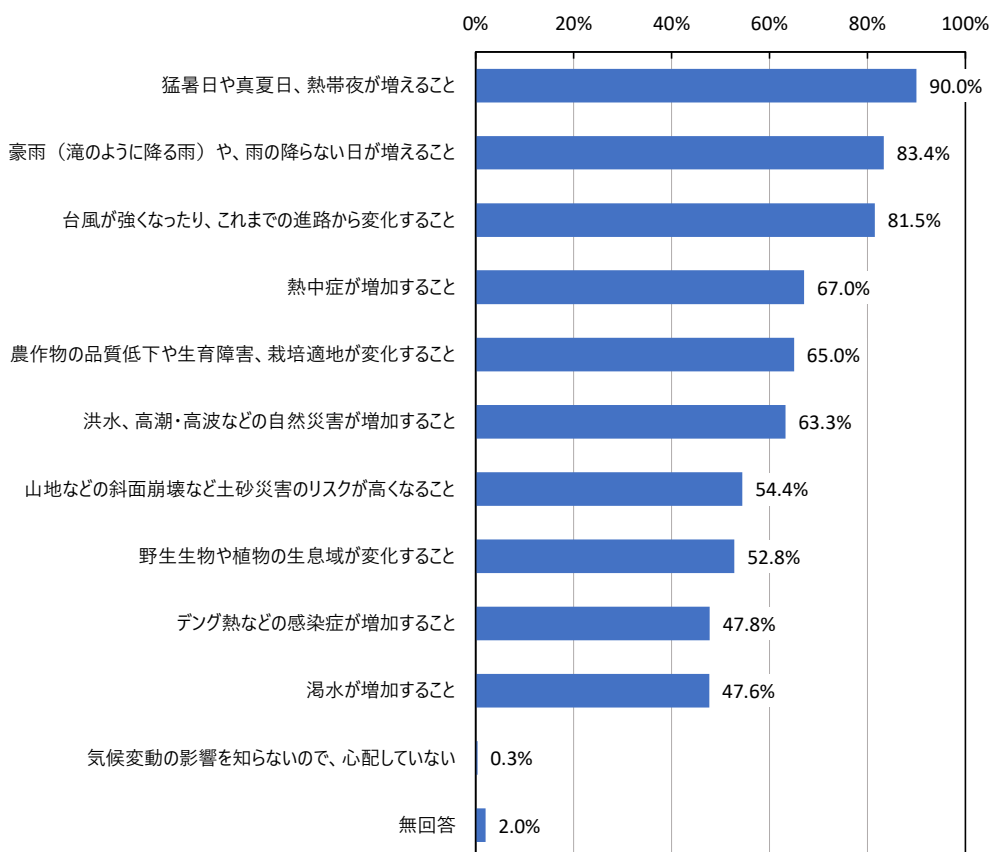


(2) 気候変動の影響に対する意識

問 11 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。気候変動の影響で心配なことはどれですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

気候変動の影響で心配なことを聞いたところ、「猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること（90.0%）」が最も高く、次いで「豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること（83.4%）」、「台風が強くなったり、これまでの進路から変化すること（81.5%）」となっており、直接気候に影響することが上位を占めています。

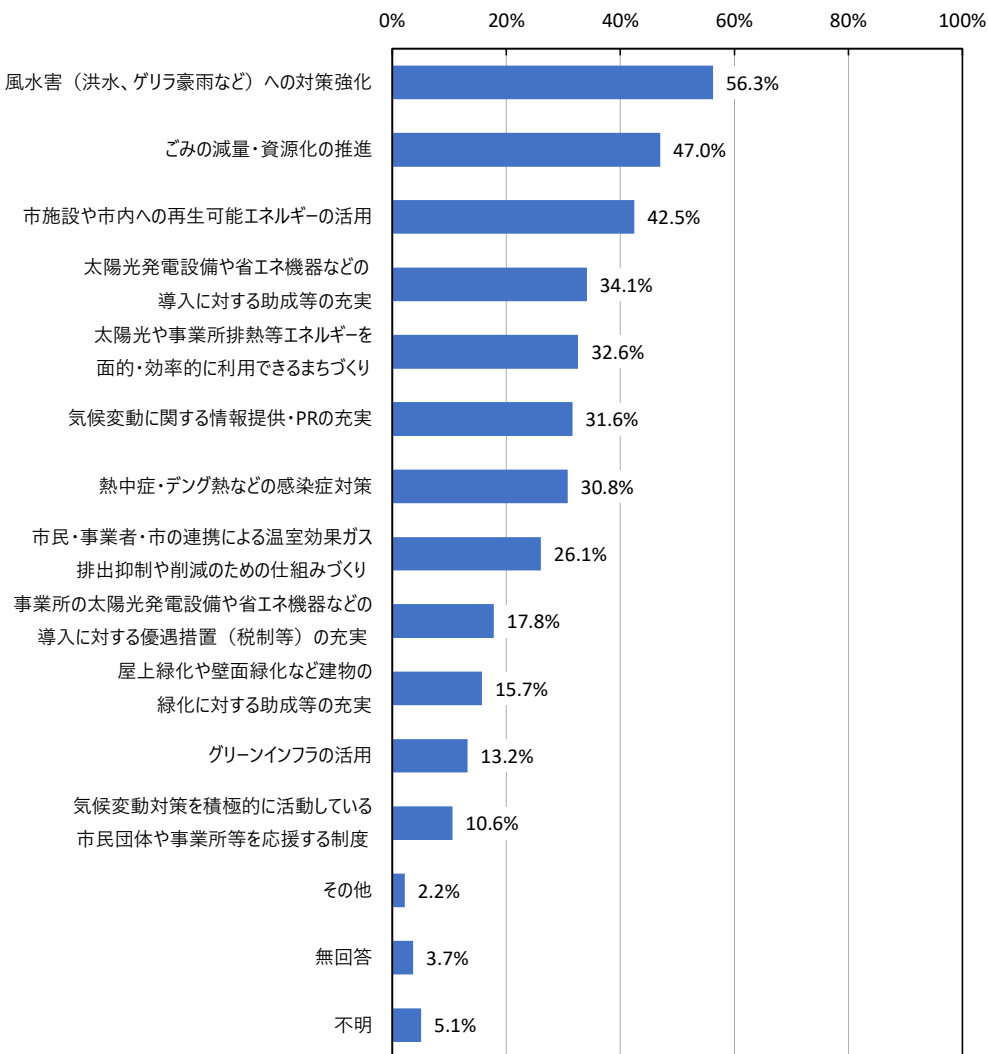
一方、「気候変動の影響を知らないので、心配していない」と回答したのは 0.3%であり、ほとんどの人が何らかの気候変動の影響について認知し、今後起こりうることを懸念している結果となっています。



(3) 市が重点的に進めるべき気候変動対策

問 12 気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思えますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に進めるべき気候変動対策を聞いたところ、「風水害（洪水、ゲリラ豪雨など）への対策強化（56.3%）」が最も多く、次いで「ごみの減量・資源化の推進（47.0%）」、「市施設や市内への再生可能エネルギーの活用（42.5%）」となっています。鎌ヶ谷市は、2019（令和元）年に台風15号、19号による被害や10月に豪雨被害を受けており、特に風水害への対策強化を求める声が多いと考えられます。



◆その他回答

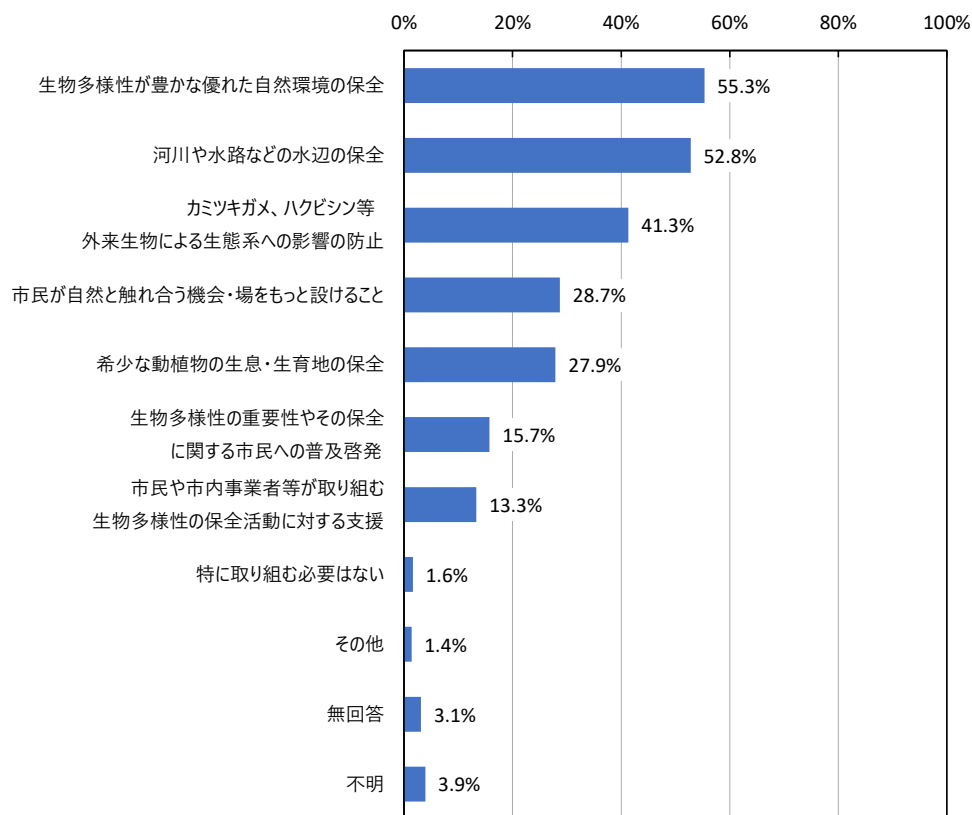
- 気候変動の将来の予測（雨量の予測等）
- 大雨による排水対策（側溝の設置）
- 下水道の整備
- 台風、ゲリラ豪雨、大雨などによる土砂崩れ、倒木対策
- 災害時の道路の混ざつ等、道路、歩道の整備
- 車の渋滞を減らし、排気ガスを削減
- 市施設の断熱改修などの省エネ化
- 市施設の大陽光発電設備や省エネ機器（EV車等）の設置
- 市がグリーンエネルギーを使用し、市民に何らかの形で還元できるような取組
- 緑化の推進
- クリーンエネルギー（燃料電池等）に関する企業の誘致
- スーパーや商業施設等での夏や冬の過度な冷暖房の使用によるCO₂排出をおさえる仕組みづくり
- 学校での環境教育、意識改革
- 市による年1~2回の対策についてのPR
- どれに○をつけていいかわからない

など

(4) 市が重点的に取り組むべき生物多様性の保全

問 13 生物多様性を守るために市が重点的に取り組むべきことはどれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が重点的に進めるべき生物多様性保全の取組を聞いたところ、「生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全（55.3%）」が最も多く、次いで「河川や水路などの水辺の保全（52.8%）」、「カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止（41.3%）」となっています。今残されている自然環境や河川や水路等の地理的環境を保全し、外来生物等の侵入といったこれらを侵食する外的要因から防除することで市内の生物多様性の保全を進めていくことが必要だと考えられます。



◆その他回答

- ホタルやトンボ等がくるような自然環境
 - 在来生物、とくに地域性在来植物の保護・普及
 - 今保全している場所（はやしみずやふれあいの森など、鎌ヶ谷の身近な自然）の管理徹底
 - 生態系ネットワークの街づくり
 - 貝柄山公園の木の整備（大きくなりすぎないように）、市の土地の草むしり、整備
 - 外来種の持ち込みを禁止し、既存の生態系を守る（生物多様性は疑問を感じる）
 - 学校での環境教育、意識改革
 - コンサルに業務を発注し、全体の戦略とマスタースケジュールを確立
 - わからない、生物多様性について知る機会が必要
- など

(5) 将来に残したい鎌ヶ谷市の自然や環境

問 14 鎌ヶ谷市内の身近な自然や環境で、将来に残したい場所などを教えてください。具体的な地名とその理由を3つまでご記入ください。

鎌ヶ谷市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所を聞いたところ、延べ669件の回答がありました。

地名	件数	理由（抜粋）
市制記念公園	191	・市民の憩いの場として子供から大人まで楽しめる公園 ・スポーツ施設と遊具があり特に春は桜の花見は良い ・機関車があつていい
貝柄山公園	149	・池の生き物や緑、野鳥を身近に感じられる。樹木に四季を感じる ・自然が残り、子供の遊び場、高齢者のウォーキングなどに良い ・貝塚は鎌ヶ谷の歴史を知る上で重要であるため
粟野地区公園（粟野の森）	39	・手入れのいきとどいた里山の森林環境を体感できる ・四季の変化と共に森の中を散歩出来、ぜひ残してほしい場所
ふれあいの森（市内各所）	34	・夏でもとても涼しく静かで緑のよさを知ることができる ・とてもくつろげる場所、散歩している人が多い
市民の森（市営キャンプ場含む）	28	・市内でキャンプできる場所だから ・公共の自然公園が少ないから
公園全般、市内各所に点在する公園	25	・設備された市民が安心して行ける場所が少ない ・子ども達の遊び場、高齢者の憩いの場として、環境がよい
囃子水・囃子水公園	25	・身近な水辺で、水鳥、小動物、植水などが見られる ・水生生物が住処にしているから、湧水は残すべき
手通公園	19	・緑が豊富で四季折々を年齢を問わず楽しめる ・車道から遠く安全、ただ水害は改善してほしい
梨畑・梨園	15	・鎌ヶ谷の名産品、代替わり等で、なくなっている市で補助等して残って欲しい
福太郎アリーナ周辺（スタジアム・体育館・陸上競技場含む）	12	・自然と近く散歩道などの利用者もいるから ・体力と健康維持と市民交流の場所
新鎌ふれあい公園	12	・公園が少ない中、きれいに整備され市民の遊び場となっているから ・災害などの避難場所として
大津川・大津川流域（緑道）	8	・鴨やダイサギ、アオサギ、雉などが生息しており、貴重な自然。もっと延長してほしい
神社・仏閣（の杜）（春日大社神社、初富稲荷神社、道野辺八幡宮など）	8	・大きな古い木と廻りの緑、繋る昆虫や小動物等にも出会える ・歴史があり、初詣の鎌ヶ谷の名所
ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム	7	・緑が多い、市民の憩いの場所、プロのプレーを身近に見れる
鎌ヶ谷大仏	7	・立派な大仏の歴史を知って欲しい、市のシンボルと考えられるから
下総小金中野牧跡（野馬土手）	7	・子供の頃から身近にあつて歴史的にも大切な場所なので
中沢地区の自然、ホタル池等	4	・森がまだ沢山あるので
佐久間城跡、森等	4	・歴史的に価値があると思っているからです
メダカの郷	4	・自然生物と身近な遊歩道、カワセミが来る場所を残してほしい

【各 3 件】 アカシア児童遊園、くぬぎ山公園、さわやかプラザ軽井沢、メダカの郷、ホテルの里、丸山児童公園		
【各 2 件】 ベルクの隣の保全林、井草橋公園、図書館・資料館等の公共施設、谷地川、利根川流域、鎌ヶ谷グリーンハイツ周辺		
【各 1 件】 市内にある小さな森（東鎌ヶ谷付近に 2 つある）、トレーニングセンターがあった隣、鎌ヶ谷カントリークラブ、近場の小川など、桜の大木（仁愛医院を出て道路の左すこし先にある）、雑木林、新鎌・北初富間の畑、中沢地区から四中に抜けるサイクリングコースの自然、中沢地区遊水池、東中沢地区南部の谷地、二和桜並木、馬込沢駅～鎌ヶ谷駅横の緑地、北初富駅そばの林(私有地)、木下街道、鈴木牧場、翔裕園の桜の大木、スポーツジム、テニスコート、プール、市民公園、自然の森、霊園の森		
わからない・特になし	17	—
不明	3	—

2-5 市の環境施策について

(1) 市の環境情報の入手方法

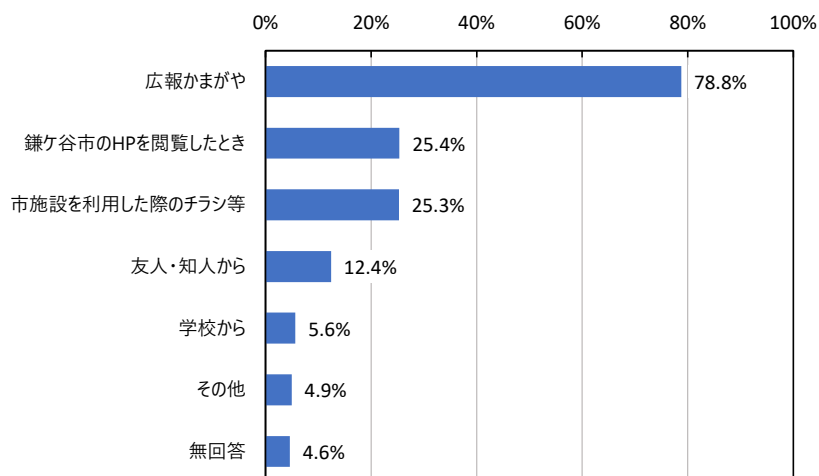
問 15 市が進めている環境に関する主な取組について、どのようなきっかけで情報を入手していますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

問 16 問 15 以外で入手しやすい方法がありますか。ご自由にご記入ください。

市の環境情報の入手方法を聞いたところ、「広報かまがや（78.8%）」が最も多い結果となっています。次いで、「鎌ヶ谷市のHPを閲覧したとき（25.4%）」、「市施設を利用した際のチラシ等（25.3%）」となっています。「広報かまがや」は新聞と一緒に配布されており、新聞を取っている世帯では、受動的に市の環境情報を入手できる機会が与えられるため、入手方法として最も回答が多かったと考えられます。

その他の入手方法としては、町内会や自治会の回覧・掲示板が多く挙げられています。また、情報を入手できない、入手していないという回答もみられます。

入手しやすい方法については、メールマガジンやSNS、アプリの活用等、携帯電話やスマートフォンなどで自分が望むときにいつでもどこからでも情報が入手できる方法や、スーパーやコンビニ等の店舗や駅、病院といった普段市民がよく足を運ぶ場所への掲示やチラシ等の設置、各世帯へのチラシのポスティングなどが挙げられています。



◆その他の回答

- 町内会、自治会の回覧・掲示板
- 市役所の掲示板
- 市からの郵便物
- スーパーの掲示板、駅改札口の掲示板
- 市議会議員からの情報
- 子ども、家族からの情報
- SNS
- 情報を入手できない
- 入手していない

など

◆その他入手しやすい方法

- メール発信、メールマガジン
- SNS (Facebook、Twitter、LINE)
- 鎌ヶ谷市のアプリ
- 地図アプリとの情報連動、#タグや QR コードによる情報取得
- 動画配信
- ポスターやちらしのポスティング
- コンビニやスーパーなどでの掲示や広報、チラシの設置
- 病院の待合室での掲示
- 駅等の公共交通機関での掲示
- 地域新聞への掲載
- 学校で配られるお便り（子どもを通じて）
- 地方 TV 局の活用

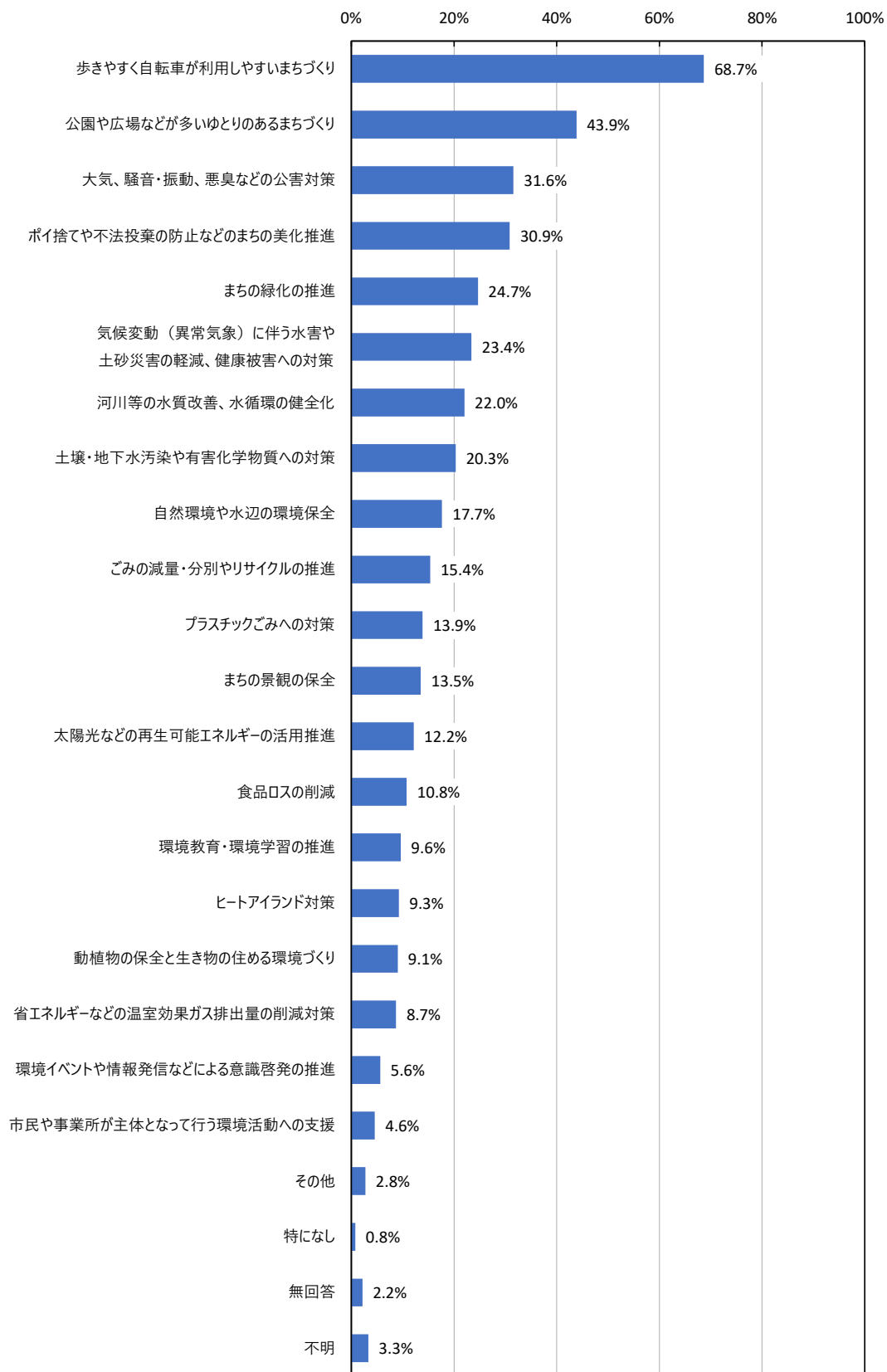
など

(2) 市が重点的に取り組むべき環境対策

問 17 鎌ヶ谷市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境への対策は、どれだと思えますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に取り組むべき環境への対策を聞いたところ、「歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくり(68.7%)」が最も多く、次いで「公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり(43.9%)」となっています。「大気、騒音・振動、悪臭などの公害対策(31.6%)」、「ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進(30.9%)」も3割以上の方が回答しています。これらの回答が上位の項目は、いずれも生活環境に関わる対策であり、鎌ヶ谷市が安全・快適・清潔なまちとなることを重要視している市民が多いことが窺えます。

一方、「環境教育・環境学習の推進(9.6%)」、「環境イベントや情報発信などによる意識啓発の推進(5.6%)」、「市民や事業所が主体となって行う環境活動への支援(4.6%)」といった市民が取組の対象となる環境対策については、市が重点的に取り組むべき環境対策としての優先度が低い傾向がみられます。



◆その他回答

- 空き家・空地対策
- ごみの分別、ごみ出しルールの徹底
- 通学路の歩道整備
- 道路の拡張、整備（渋滞対策）
- 幹線道路及びその信号抜け道の振動対策
- 防犯カメラの充実
- 災害に強い都市づくり、災害対応力向上
- 下水道整備
- 排水溝からの異臭対策
- 鎌ヶ谷市によるフードバンクのNPO法人設立支援し、生活困窮者を支援
- 環境に配慮したまちづくりの推進

など

2-6 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、257人（29.5%）の方からの記入がありました。以下は、記入内容を分類し、表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は354件となりました。

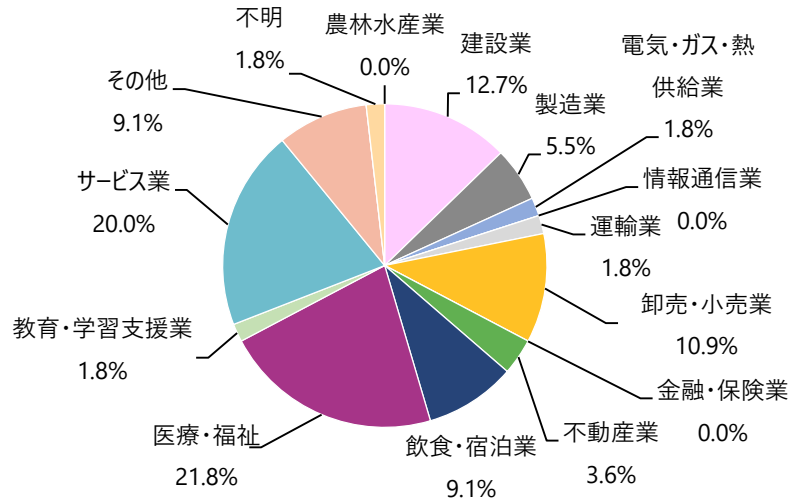
分類	件数
生活環境	(計) 154
道路の安全	106
騒音・振動	13
悪臭	7
公共交通	6
上下水道	6
野焼き	5
野良猫	4
飼い主マナー	3
防犯	2
喫煙マナー	2
自然環境	(計) 49
公園・遊歩道の整備	34
森林・雑木林・大木の保護	6
自然・緑・野生動物の保護	5
外来生物	2
水環境	2
文化的環境	(計) 25
風景・景観	16
空き地・空き家対策	7
梨畑の減少	2
資源循環	(計) 32
ごみ（ポイ捨て）	11
ごみ（分別・回収）	10
ごみ（プラスチック）	4
ごみ（不法投棄）	4
ごみ（削減・リサイクル）	3
地球環境	(計) 21
温暖化対策	15
環境教育・意識啓発	6

分類	件数
防災・減災	(計) 19
豪雨・土砂くずれ等の災害対策	11
アナウンス（防災行政無線）	8
その他	(計) 54
少子高齢化に伴う環境の取組対応	9
アンケートについて	7
広報・周知（環境全般）	3
その他（環境以外）	8
感想・メッセージ	27

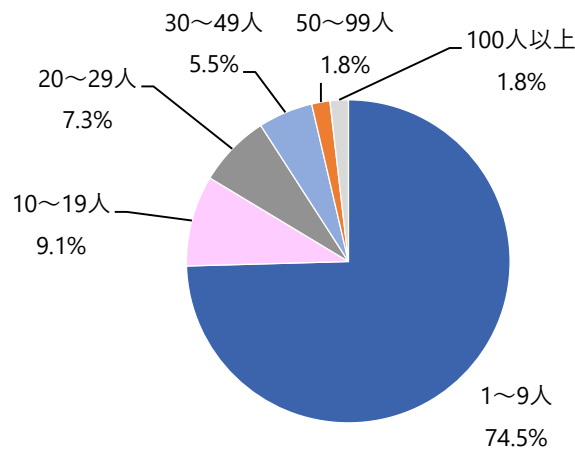
3 事業者アンケート調査の結果

3-1 事業所の属性について

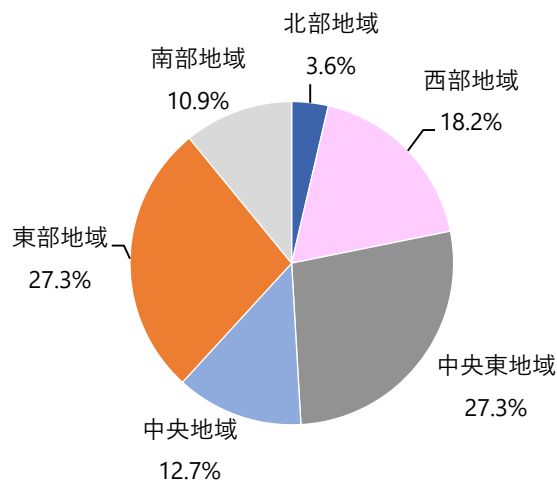
(1) 業種



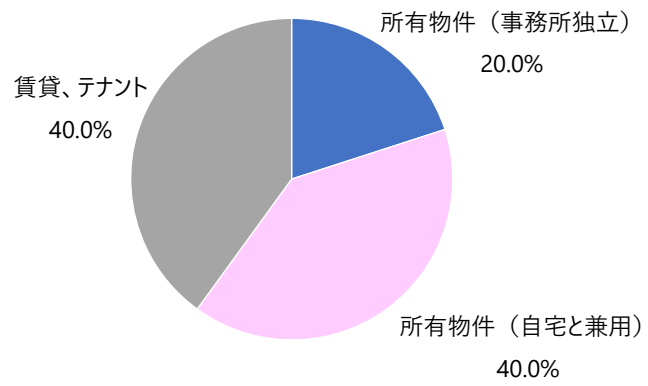
(2) 従業員規模



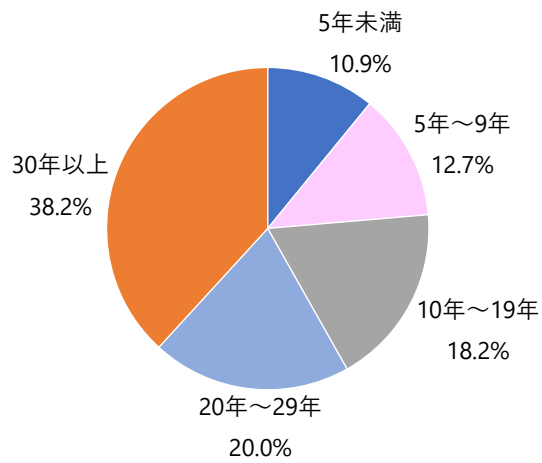
(3) 所在地



(4) 建物の形態



(5) 鎌ヶ谷市での事業年数



3-2 事業所における環境の取組について

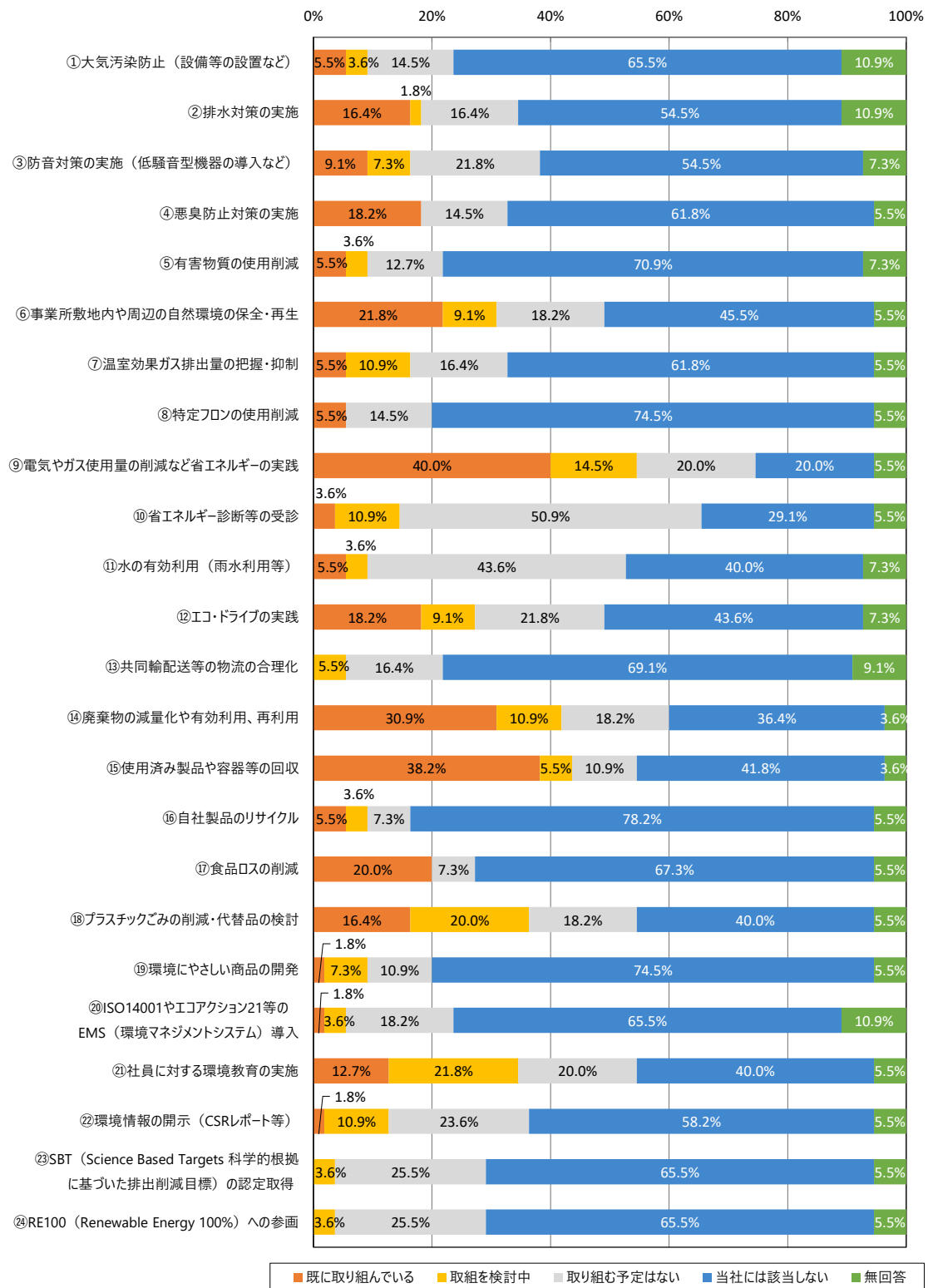
(1) 事業所で取り組んでいる環境活動

- 問 6-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。
- 問 6-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

事業所の環境活動について聞いたところ、『既に取り組んでいる』と回答した事業所が最も多かったのは「⑨電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践（40.0%）」であり、次いで「⑮使用済み製品や容器等の回収（38.2%）」、「⑭廃棄物の減量化や有効利用、再利用（30.9%）」となっています。また、『取組を検討中』と回答した事業所が多かったのは、「⑫社員に対する環境教育の実施（21.8%）」、「⑯プラスチックごみの削減・代替品の検討（20.0%）」、「⑨電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践（14.5%）」であり、プラスチックごみ問題や脱炭素などの世の中で注目されている取組に直接的に関係する環境活動に対して市内事業所の関心が高いことが窺えます。

一方、『取り組む予定はない』と回答した事業者が多かったのは、「⑩省エネルギー診断等の受診（50.9%）」、「⑪水の有効利用（雨水利用等）（43.6%）」、「⑬SBT（Science Based Targets 科学的根拠に基づいた排出削減目標）の認定取得（25.5%）」、「⑭RE100（Renewable Energy 100%）への参画（25.5%）」となっています。

取り組んでいる事業所が最も多かった「⑨電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践」については、本来、業種や施設・設備の有無に関係なく、すべての事業所で取り組むことができる環境活動であるにも関わらず、4割の事業所が『取り組む予定はない（20.0%）』、『当社には該当しない（20.0%）』と回答しています。これについては、取り組み方の周知のほか、取り組むことの意義や効果の実感が得られるしくみづくりが必要と考えられます。



◆その他の環境活動

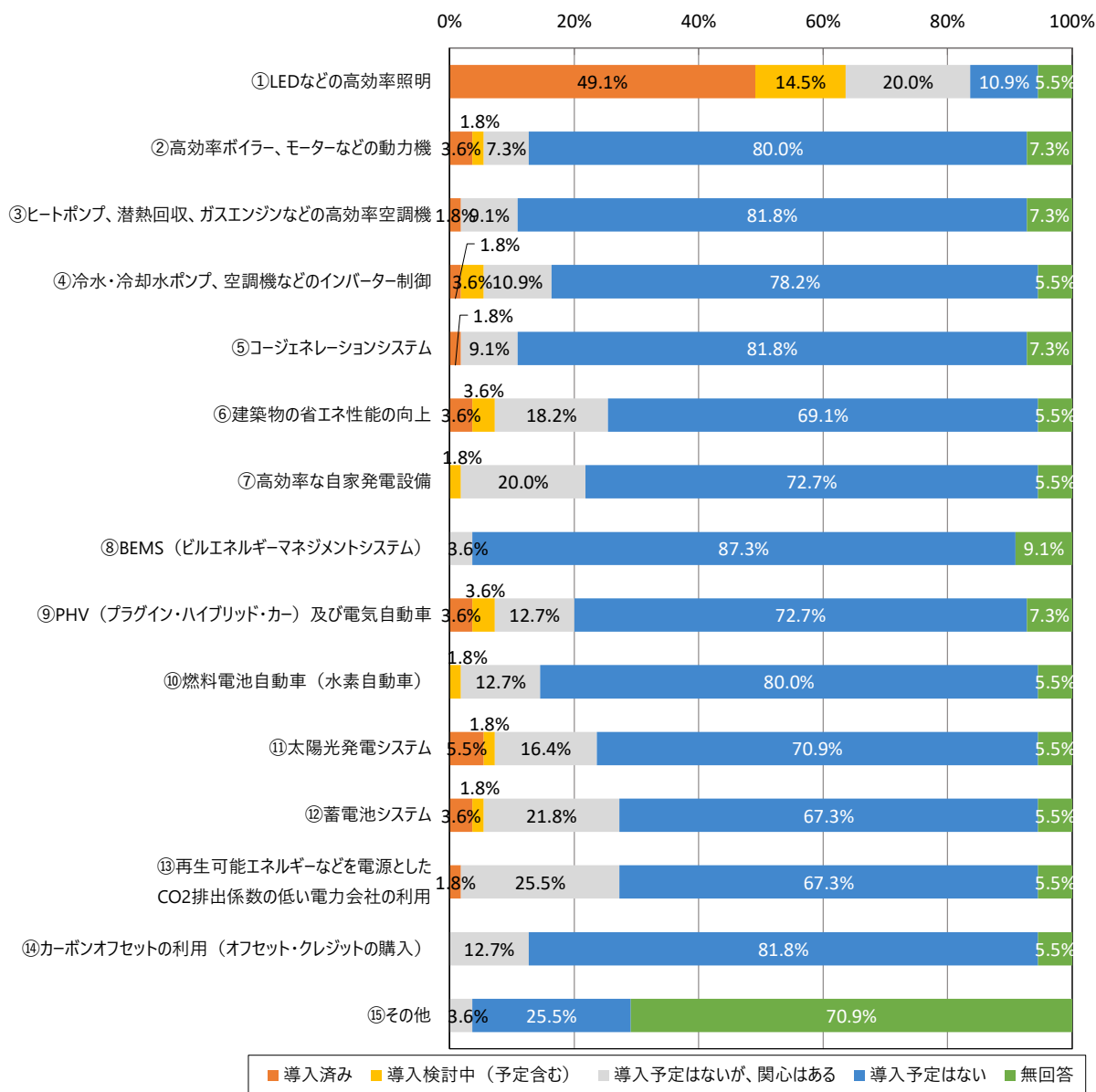
- 地域所有の建物を使用又利用しているため飲食物の持参は控えて、整理整頓に心がける
- 資源ゴミの分別
- 特になし

(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問7 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器の導入状況について聞いたところ、『導入済み』と回答した割合は、「①LEDなどの高効率照明（49.1%）」が最も多く、次いで「⑩太陽光発電システム（5.5%）」となっています。また、『導入検討中（予定含む）』については、「④冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御（3.6%）」、「⑥建築物の省エネ性能の向上（3.6%）」、「⑨PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー）及び電気自動車（3.6%）」の回答が挙がっています。

『導入予定はないが、関心はある』については、「⑬再生可能エネルギーなどを電源としたCO₂排出係数の低い電力会社の利用（25.5%）」、「⑫蓄電池システム（21.8%）」、「①LEDなどの高効率照明（20.0%）」、「⑦高効率な自家発電設備（20.0%）」で回答率が高くなっています。「⑬再生可能エネルギーなどを電源としたCO₂排出係数の低い電力会社の利用」は、自社での新たな設備導入が必要なく実施可能な脱炭素の取組であるため、関心が高いと考えられます。また、「⑫蓄電池システム」や「⑦高効率な自家発電設備」は、災害時にも自社の操業を停止させずに済むことから関心が高く、今後の普及が期待されます。

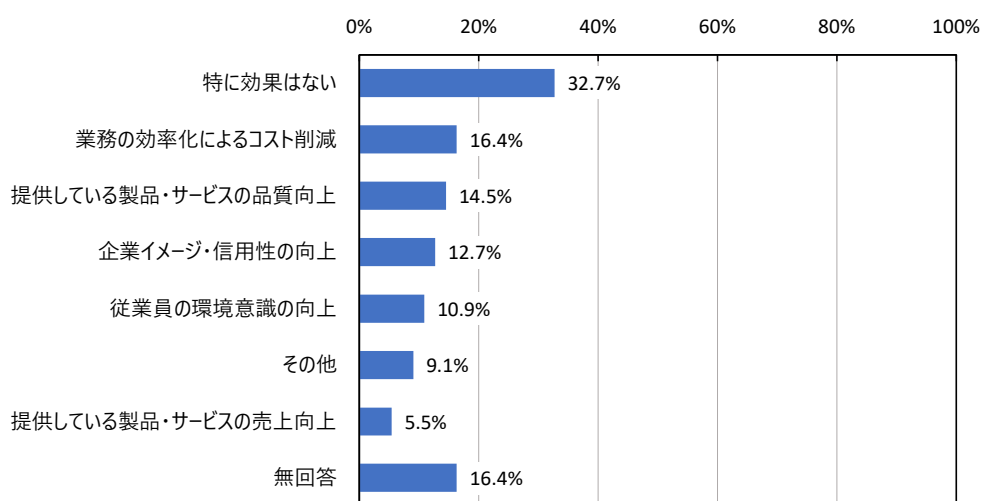


3-3 環境活動における効果と課題、必要な支援について

(1) 環境活動で得られた効果

問8 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。
あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動で得られた効果を聞いたところ、「特に効果はない（32.7%）」が最も多く、次いで「業務の効率化によるコスト削減（16.4%）」、「提供している製品・サービスの品質向上（14.5%）」、「企業イメージ・信用性の向上（12.7%）」となっています。今後、事業所で環境活動を普及させていくためには、取組の成果の見える化や、インセンティブなどのしくみづくりが必要であると考えられます。



◆その他回答

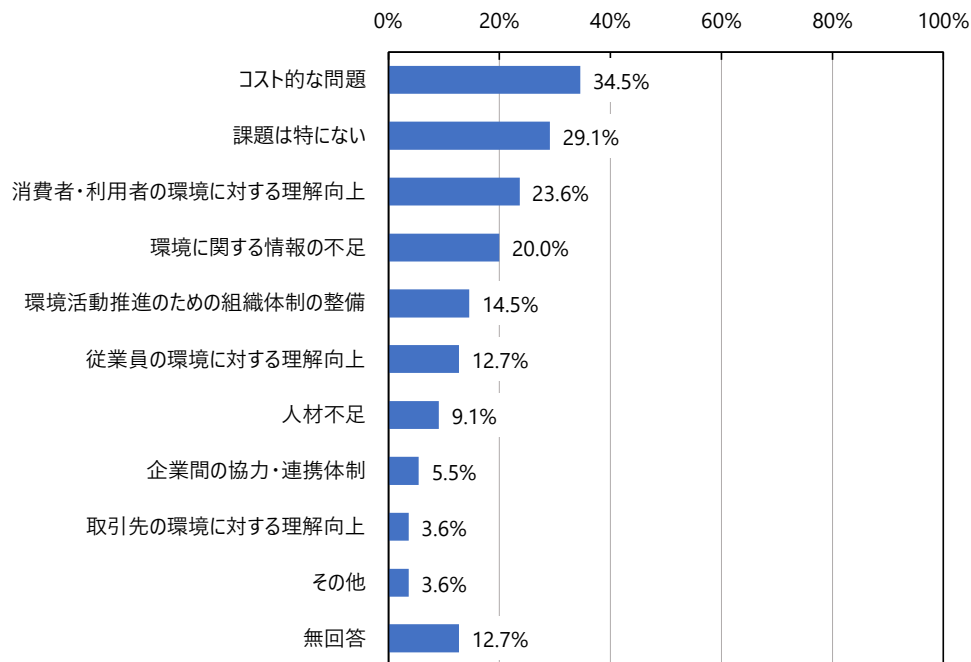
- 当事業所では環境活動で得られた成果は関係ない
- 事業的取り組む事はあまりない
- 概当しない

(2) 環境活動を進めるにあたっての課題

問9 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動に対する課題を聞いたところ、「コスト的な問題（34.5%）」が最も多く、次いで「課題は特にない（29.1%）」、「消費者・利用者の環境に対する理解向上（23.6%）」、「環境に関する情報の不足（20.0%）」となっています。

環境活動には、施設・設備機器の導入や更新等のコストがかかるものもありますが、設備機器の運用管理徹底による省エネや、従業員一人一人の省エネ行動や廃棄物削減のための行動、清掃・美化活動等、費用をかけずに実施できる活動もあります。さらに、問8の環境活動で得られた効果としてコスト削減も上位に挙げられていることから、コストをかけずに実施できる環境活動やコスト削減効果を得られる環境活動事例、環境活動に関する国や県等の補助金や助成金制度の情報提供等を行っていくことが必要だと考えられます。



◆その他回答

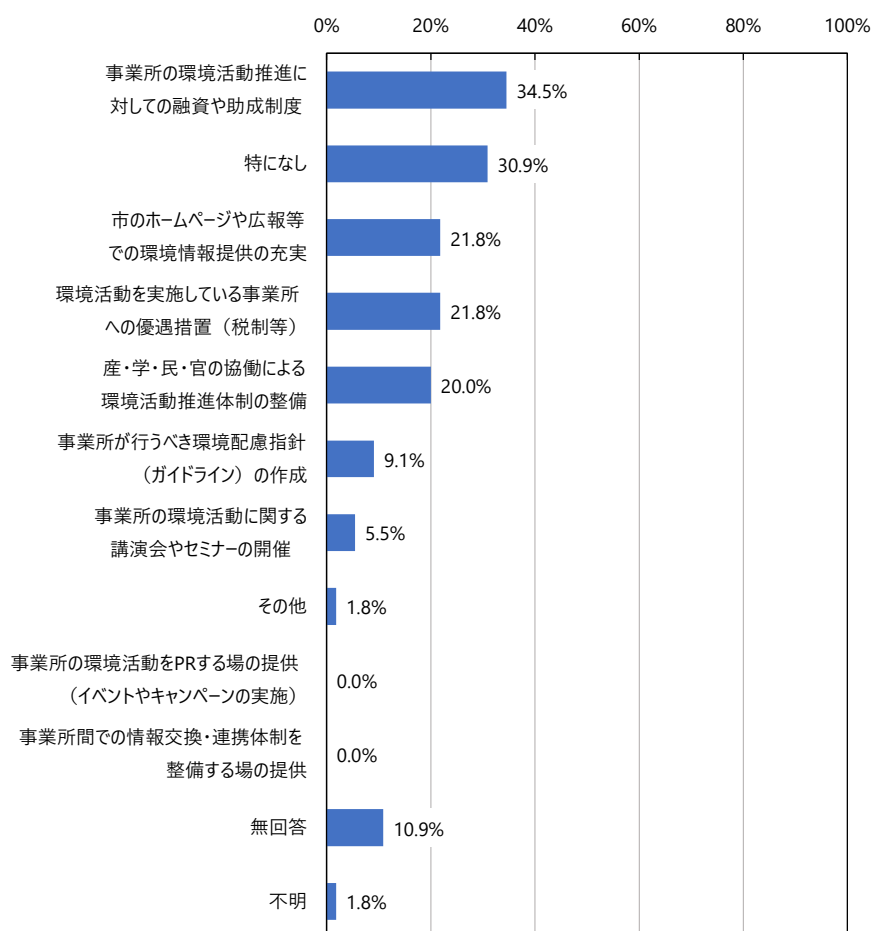
○効果がとくにない

(3) 市が実施すると望ましいサポート

問 10 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が実施すると望ましいサポートについて聞いたところ、「事業所の環境活動推進に対する融資や助成制度（34.5%）」と最も多く、次いで「特になし（30.9%）」、「市のホームページや広報等での環境情報提供の充実（21.8%）」、「環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）（21.8%）」となっています。

問 9 の 環境活動を進めるにあたっての課題で最も回答率が高かったコスト的な問題と対応し、費用面でのサポートや、ガイドラインなどの情報提供の充実が求められていることが窺えます。

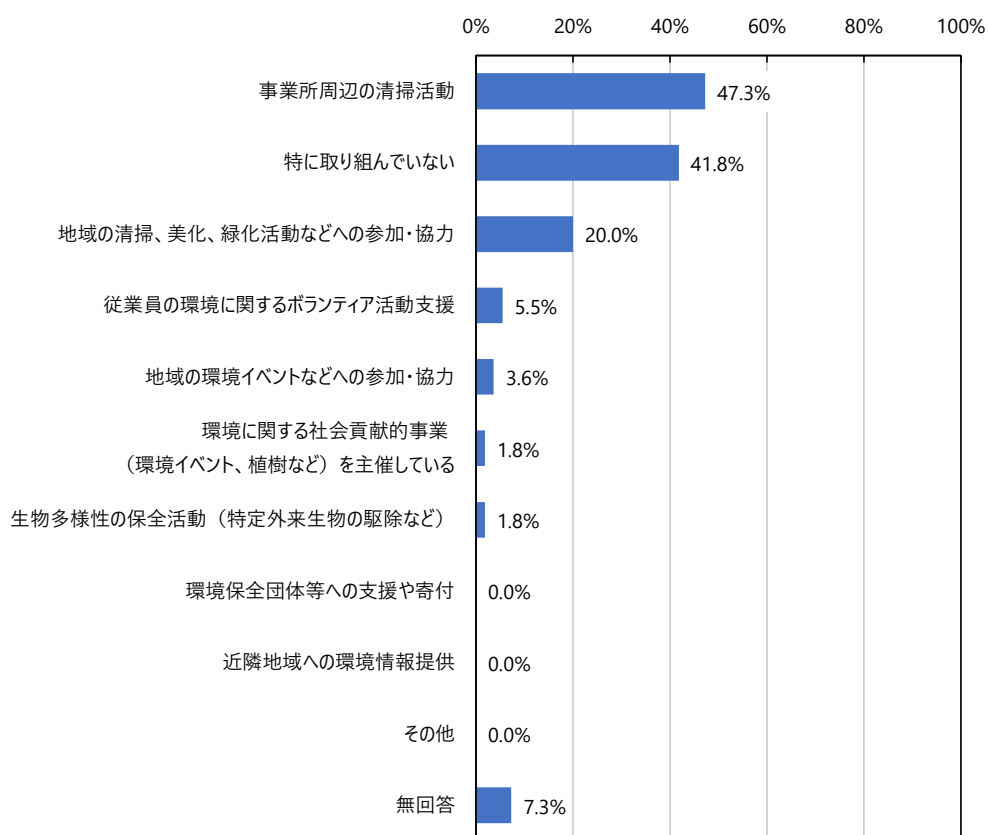


3-4 地域の環境活動について

(1) 取り組んでいる地域環境活動

問 11 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

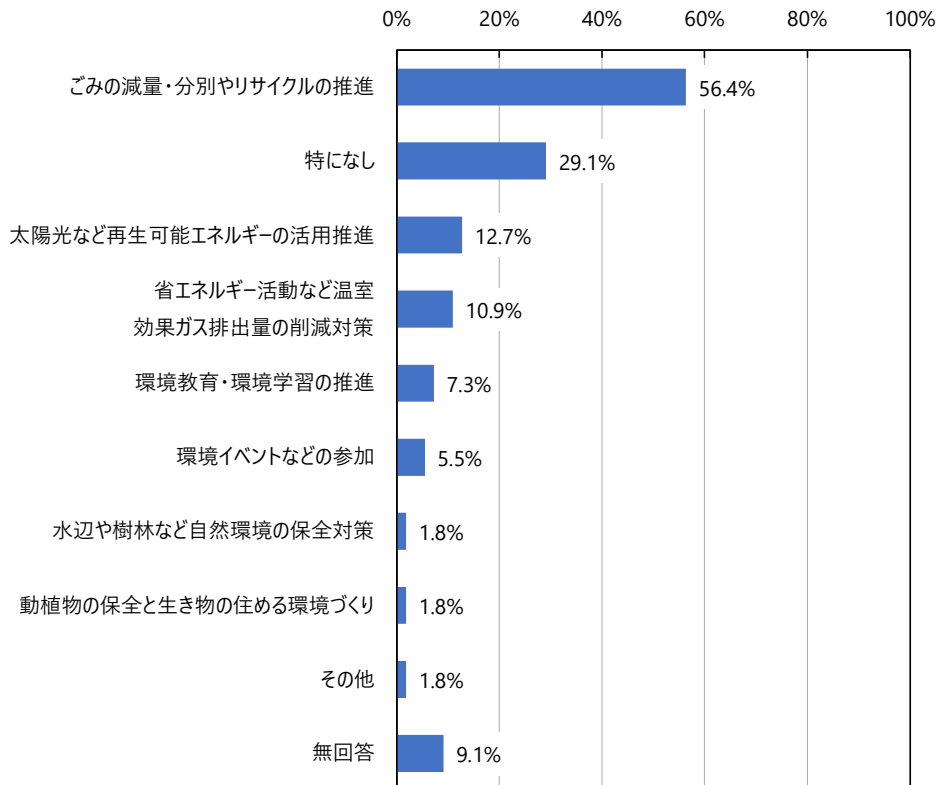
取り組んでいる地域環境活動を聞いたところ、「事業所周辺の清掃活動（47.3%）」と「特に取り組んでいない（41.8%）」の回答率が高くなっています。次いで「地域の清掃、美化、緑化活動などへの参加・協力（20.0%）」となっており、身近に取り組める清掃活動への参加が中心となっています。



(2) 協力、支援できる活動分野

問 12 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野はありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野を聞いたところ、「ごみの減量・分別やリサイクルの推進（56.4%）」が最も多く、次いで「特になし（29.1%）」、「太陽光など再生可能エネルギーの活用推進（12.7%）」となっています。



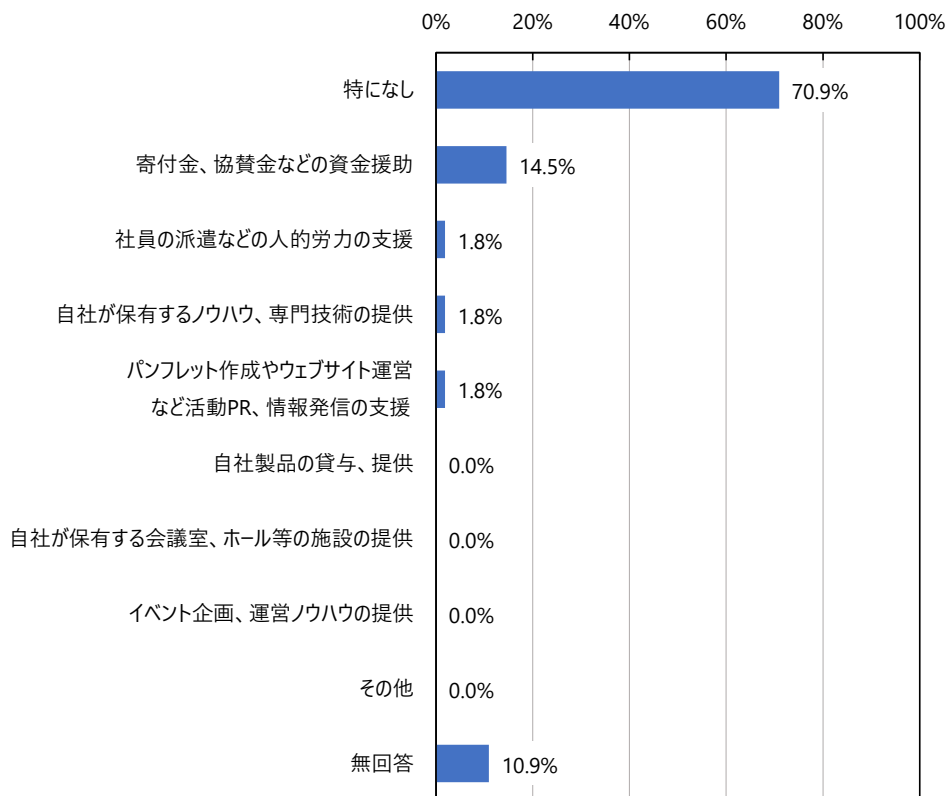
◆その他回答

○災害時発電機等運転、使用説明、トラブル対応

(3) 協力、支援できる取組

問 13 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組はありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組を聞いたところ、「特になし（70.9%）」が約7割となっていますが、「寄付金、協賛金などの資金援助（14.5%）」、「社員の派遣などの人的労力の支援（1.8%）」、「自社が保有するノウハウ、専門技術の提供（1.8%）」、「パンフレット作成やウェブサイト運営など活動PR、情報発信の支援（1.8%）」などの回答を得ています。

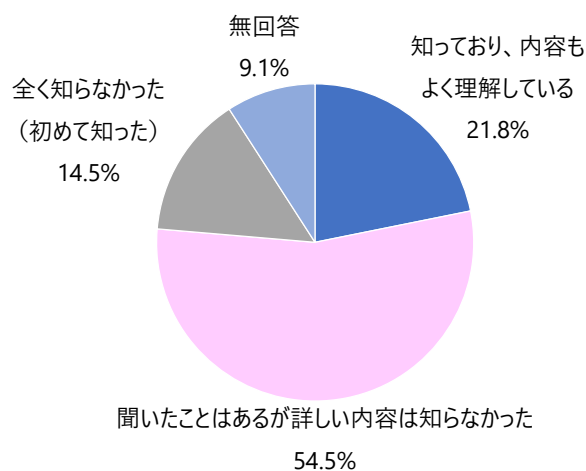


3-5 気候変動対策について

(1) 脱炭素経営の認知度

問 14 日本では、「2050年までのカーボンニュートラル」を目指すとともに、地球温暖化対策を新たな成長戦略として位置づけ、取組を加速することとしています。事業所では脱炭素経営への転換が求められています。脱炭素経営のことについて、知っていますか。あてはまる番号を1つだけ選んで、○で囲んでください。

脱炭素経営について聞いたところ、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らなかった（54.5%）」が最も多く、次いで「知っており、内容もよく理解している（21.8%）」で、両者を合わせた回答は76.3%となっています。一方、「全く知らなかった（初めて知った）」と回答した事業所は14.5%となっています。今後の脱炭素化に向けて、鎌ヶ谷市・市民・事業者が一体となって取り組んでいく必要があります。市内事業者への脱炭素経営に関する情報提供が必要と考えられます。また、問8で環境活動に取り組んだことで得られた成果や効果がないと感じている事業者が多いことから、脱炭素経営の実施におけるメリットを明確にした上で情報発信をしていくことが重要だと考えられます。

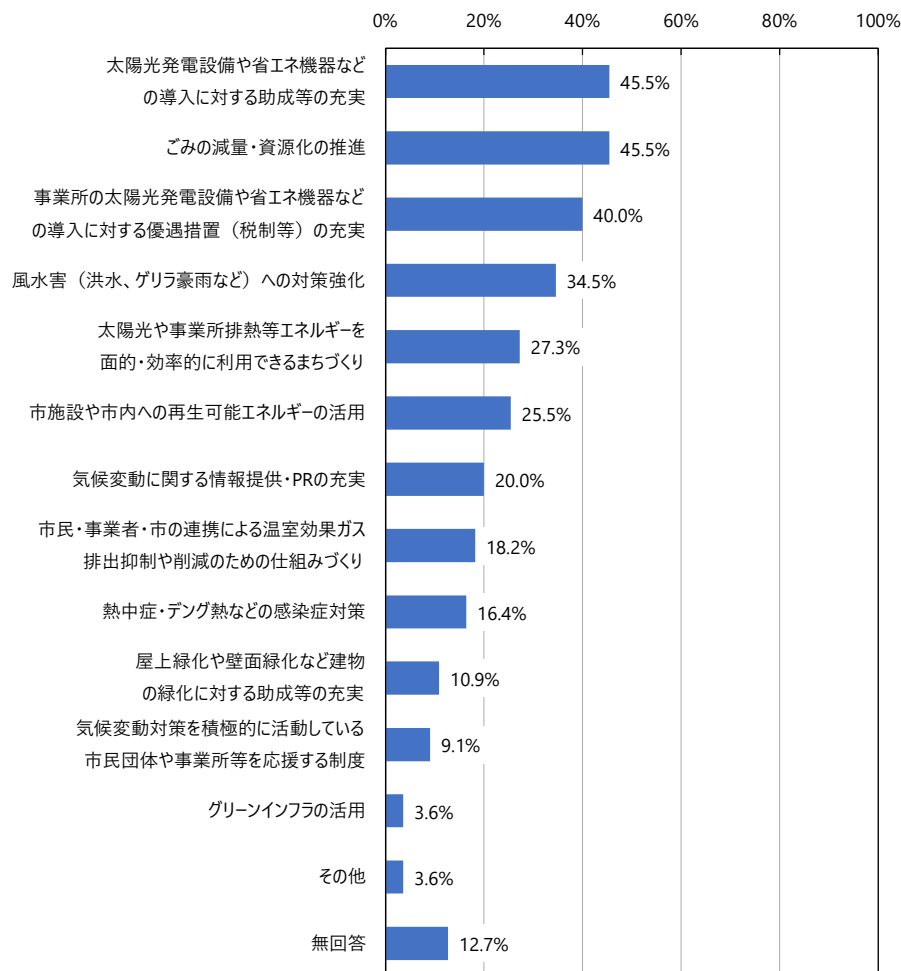


(2) 市が重点的に進めるべき気候変動対策

問 15 気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思えますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に進めるべき気候変動対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（45.5%）」と「ごみの減量・資源化の推進（45.5%）」が最も多く、次いで「事業所の太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する優遇措置（税制等）の充実（40.0%）」となっています。

問7の地球温暖化対策設備機器の導入状況においても、蓄電池システム、高効率な自家発電設備などへの関心が高いことから、今後の導入に向けた支援への期待が高いと言えます。



◆ その他回答

- 当事業所は上記の業務等には関係ありません
- 専門家の意見を参考に必要な事してほしい

3-6 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、8 事業所（14.5%）から、延べ 11 件の記入がありました。

分類	件数
生活環境	(計) 1
道路の安全	1
文化的環境	(計) 1
空き地・空き家対策	1
資源循環	(計) 1
ごみ（削減・リサイクル）	1
地球環境	(計) 3
温暖化対策（設備機器）	3
その他	(計) 5
アンケートについて	3
事業活動について	2

4 調査結果のまとめ

4-1 市民意識調査結果

分野	結果概要
1 脱炭素、気候変動への 適応	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動の影響に対する認知度は高く、風水害への対策強化が求められている。 ●脱炭素につながる取組のうち、日常的な節電の取組は市民の生活に定着し、LED 照明の導入は進んでいるが、太陽光発電などの再エネ設備機器や高効率な省エネ設備機器等の導入は十分には進んでいない。 ●再生可能エネルギーや自然エネルギー電力に対する市民の関心が高く、今後の取組の広がりが期待される。
2 自然・みどり、 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●自然のみどりの豊かさについて、全体的に満足度が高いが、地域により差がみられている。 ●生物多様性が豊かな優れた自然環境や水辺の保全に対する市民の関心が高くなっている。
3 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ●空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源の分別、マイバッグやマイボトルの持参の取組は市民生活に浸透し、定着している。
4 安心・安全、快適	<ul style="list-style-type: none"> ●歩きやすさ・自転車の走りやすさに対する満足度が低く、歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくりが求められている。 ●川や水辺のきれいさ、まちの静かさ、事業所等からの臭いといった生活環境に関する項目、ゆとりある空間（公園、広場）の多さ、まちの清潔さといった快適性に関する項目では、地域により満足度に差がみられており、地域特性に応じた対策が必要と考えられる。
5 環境施策の横断的な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ●環境活動や環境学習の講座・講演会への参加に対して市民の関心があるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で環境学習、環境活動の機会が少なく、満足度が低くなっている。新しい生活様式に合わせた環境学習や環境活動の機会創出が求められている。 ●市の環境情報の入手方法は広報誌が最も多いが、メールマガジンや SNS、アプリ、駅や店舗等の広告の活用等、様々な形態の情報発信が求められている。

4-2 事業者意識調査結果

分野	結果概要
1 脱炭素、気候変動への 適応	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素経営の認知度は広まっているものの、詳しい内容までは把握していない事業者が多く、取り組むことの意義やメリットを明確にした上で具体的な取組内容などについての情報発信が必要とされている。 ●脱炭素につながる設備機器としてLED照明は普及が進んでいるが、太陽光発電等のその他の設備機器は導入している事業所が少ない。 ●CO₂排出係数の低い電力会社の利用、蓄電池システム、自家発電設備への関心が高く、今後の普及が期待される。
2 自然・みどり、 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●敷地内や周辺地域の緑化など、自然環境の保全・再生の取組を行っている事業者が多い。
3 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の減量化やリサイクル、使用済み製品や容器等の回収の取組を実践している事業所の割合が多く、プラスチックごみの削減に対する関心が高い。 ●地域貢献活動として、ごみの減量・分別やリサイクルの推進への協力・支援を多くの事業者が挙げている。
4 安心・安全、快適	<ul style="list-style-type: none"> ●大気・排水・騒音・悪臭・有害物質の取組については、概ね実施されているが、取り組む予定はないとしている事業者への周知が必要と考えられる。
5 環境施策の横断的な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ●環境活動の課題解決策として、融資や助成、優遇措置などコスト的な支援に加え、消費者・利用者の理解向上のための情報発信や、取組成果の見える化や取組へのインセンティブなどのしくみづくりが必要と考えられる。

巻末資料

アンケート調査票

- ① 市民アンケート調査票
- ② 事業者アンケート調査票

整理番号

鎌ヶ谷市の環境についての市民アンケート調査

市民の皆様には、日ごろより、鎌ヶ谷市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、「鎌ヶ谷市環境基本計画」と「地球温暖化対策実行計画（区域施策）」を策定し、環境の保全と地球温暖化対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、昨今の国内外の気候変動対策の変化を受け、「地球温暖化対策実行計画（区域施策）」を包含した令和5年度を初年度とする「鎌ヶ谷市第3次環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民の皆様から、住んでいる地域の環境の満足度や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月6日

鎌ヶ谷市長 芝田 裕美

- ◆ 市内に在住する満18歳以上の2,000人の方を無作為に抽出し、無記名でご回答をお願いしています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、回答いただいた方の個人情報や特定のデータが公表されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。
- ◆ 本アンケートの結果は、市のホームページなどで公表します。

ご回答の方法

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② WEBでのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/1Htpy2L8HYi88KEk9>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、**10月29日(金)**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

鎌ヶ谷市市民生活部環境課環境計画係

〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-6-1

電話：(047) 445-1227 FAX：(047) 445-1400

◆あなたのことについて、お伺いします◆

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳以上 | | |

問2 あなたは鎌ヶ谷市に何年住んでいますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年-4年 | 3. 5年-9年 |
| 4. 10年-19年 | 5. 20年-29年 | 6. 30年以上 |

問3 あなたがお住まいの「地域」は、どこですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 北部地域 | 2. 西部地域 | 3. 中央東地域 | 4. 中央地域 |
| 5. 東部地域 | 6. 南部地域 | | |

※お住まいの地域は、以下をご参照ください。

地域名	区分の目安
1. 北部地域	佐津間、軽井沢、栗野、西佐津間、中佐津間、南佐津間等を含み、市の北部にあって、柏市、松戸市、白井市に隣接
2. 西部地域	くぬぎ山、初富、栗野等を含み、市の北西にあって、松戸市に隣接
3. 中央東地域	初富、東初富、南初富、東鎌ヶ谷等を含み、白井市、船橋市に隣接
4. 中央地域	中央、富岡、道野辺本町、初富本町等を含み、市の中央部に位置
5. 東部地域	鎌ヶ谷、南鎌ヶ谷、東道野辺を含み、船橋市に隣接
6. 南部地域	中沢、東中沢、道野辺、西道野辺、北中沢、馬込沢等を含み、船橋市、市川市に隣接

問4 あなたの住居の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 一戸建て（持ち家） | 2. 一戸建て（借家） | 3. 集合住宅（持ち家） |
| 4. 集合住宅（借家） | 5. 社宅・寮 | 6. その他（ ） |

問5 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。あてはまる番号に○で囲んでください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他（ ） | |

問6 世帯で所有している車は何台ですか。あてはまる番号に○で囲んでください。

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| 1. なし | 2. 1台 | 3. 2台 |
| 4. 3台以上 | 5. その他（ ） | |

◆鎌ヶ谷市の環境についてお伺いします◆

問7 鎌ヶ谷市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度について、あてはまる番号 1~5の中から1つだけ○で囲んでください。

項目		日ごろ感じる満足度				
		満 足	ま ま 満 足	普 通	や や 不 満	不 満
記入例 ⇒		5	4	③	2	1
①	空気のきれいさ	5	4	3	2	1
②	近くの川や水辺のきれいさ	5	4	3	2	1
③	音や振動などのまちの静かさ	5	4	3	2	1
④	事業所等からの臭い（悪臭がしない）	5	4	3	2	1
⑤	自然のみどりの豊かさ	5	4	3	2	1
⑥	水辺環境の豊かさ	5	4	3	2	1
⑦	野生の動植物の身近さ	5	4	3	2	1
⑧	まちなかのみどり(街路樹、公園)の豊かさ	5	4	3	2	1
⑨	自然や水辺とふれあう機会の豊かさ(親水)	5	4	3	2	1
⑩	ゆとりのある空間（公園、広場）の多さ	5	4	3	2	1
⑪	まちの清潔さ	5	4	3	2	1
⑫	まちなみの美しさ	5	4	3	2	1
⑬	歩きやすさ・自転車の走りやすさ	5	4	3	2	1
⑭	公共交通機関の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑮	ごみの減量・リサイクル・分別の徹底状況	5	4	3	2	1
⑯	まちなかの省エネルギーの取組状況	5	4	3	2	1
⑰	太陽光など再生可能エネルギーの普及状況	5	4	3	2	1
⑱	熱中症対策への取組状況	5	4	3	2	1
⑲	水害や土砂災害などの被害防止への取組状況	5	4	3	2	1
⑳	環境に関する情報の知りやすさ・わかりやすさ	5	4	3	2	1
㉑	環境を学ぶ場の充実さ	5	4	3	2	1
㉒	環境活動ができる機会の多さ	5	4	3	2	1

◆環境に関する取組についてお伺いします◆

問8 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

1. 消灯や冷暖房の温度設定の管理などの節電の取組
2. 洗濯に風呂の残り湯を使用したり、植物の水やりに雨水を使用するなどの節水の取組
3. マイバッグやマイボトルの持参
4. 生ごみを減らすために食材は使いきる
5. 生ごみや調理くずを堆肥にする
6. 空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの分別
7. 環境に優しい商品（環境ラベル商品）などの購入
8. 油や調理くずなどを下水に流さないよう、家庭排水への配慮
9. 敷地内の植栽や緑のカーテンなど緑化活動
10. 近隣騒音（ピアノなどの音漏れ）の防止
11. できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関を使う
12. 環境にやさしいエコ・ドライブを实践
13. 特に何も心がけていない
14. その他（)

問9 あなたは、これまでに環境に係わる活動に参加したことがありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

項目	主催・開催したことがある	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない
記入例 ⇒	1	②	3	4
① 地区の資源回収	1	2	3	4
② 公園や川などの地域の清掃活動	1	2	3	4
③ 花植えや植樹などの地域の緑化活動	1	2	3	4
④ 樹林や水辺などの自然環境の保全活動	1	2	3	4
⑤ 環境に関する学習講座、講演会	1	2	3	4
⑥ 地域の自然観察会	1	2	3	4
⑦ その他（)	1	2	3	4

◆気候変動対策についてお伺いします◆

問 10 気候変動対策につながる次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

項 目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	予定はないが、関心 はある	関心はない、又は該 当しない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4
②	住宅用太陽熱利用システム	1	2	3	4
③	ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ	1	2	3	4
④	壁、床、天井などの断熱	1	2	3	4
⑤	エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器	1	2	3	4
⑥	電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4
⑦	LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
⑧	家庭用燃料電池システム（エネファーム）	1	2	3	4
⑨	家庭用蓄電池システム	1	2	3	4
⑩	HEMS（Home Energy Management System）※	1	2	3	4
⑪	再生可能エネルギー、自然エネルギーの電力	1	2	3	4
⑫	排出ガスが少なく燃費の良い自動車	1	2	3	4
⑬	PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー） または電気自動車	1	2	3	4
⑭	燃料電池自動車（水素自動車）	1	2	3	4
⑮	雨水浸透・貯留設備	1	2	3	4

※「ホームエネルギーマネジメントシステム」の略で、家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステム。

問 11 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。気候変動の影響で心配なことはどれですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること
2. 豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること
3. 台風が強くなったり、これまでの進路から変化すること
4. 洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること
5. 熱中症が増加すること
6. デング熱などの感染症が増加すること
7. 農作物の品質低下や生育障害、栽培適地が変化すること
8. 渇水が増加すること
9. 野生生物や植物の生息域が変化すること
10. 山地などの斜面崩壊など土砂災害のリスクが高くなること
11. 気候変動の影響を知らないので、心配していない

身近な気候変動の影響

●洪水・豪雨

千葉県では、令和元年房総半島台風（台風第 15 号）や東日本台風（台風第 19 号）、令和元年 10 月 25 日の大雨など、暴風や豪雨に伴う被害が近年多発しており、気候変動に伴う風水害への備えが必要となっています。

●熱中症

気温の上昇だけでなく、熱中症に注意すべき時期も長くなっています。2010（平成 22）年には日本全国の熱中症による死者数が約 1,700 人と過去最多を記録し、2018（平成 30）年の熱中症搬送者数は 95,000 人を超え、過去最多となっています。

問 12 気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

1. 気候変動に関する情報提供・PRの充実
2. 太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実
3. 事業所の太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する優遇措置（税制等）の充実
4. 市施設や市内への再生可能エネルギーの活用
5. 太陽光や事業所排熱等エネルギーを面的・効率的に利用できるまちづくり
6. 屋上緑化や壁面緑化など建物の緑化に対する助成等の充実
7. ごみの減量・資源化の推進
8. 市民・事業者・市の連携による温室効果ガス排出抑制や削減のための仕組みづくり
9. 気候変動対策を積極的に活動している市民団体や事業所等を応援する制度
10. グリーンインフラの活用
11. 風水害（洪水、ゲリラ豪雨など）への対策強化
12. 熱中症・デング熱などの感染症対策
13. その他（)

◆生物多様性についてお伺いします◆

生物多様性とは？

生物多様性とは、すべての生き物の「個性」と「つながり」であり、遺伝子の多様性、種の多様性、生態系の多様性の3つのレベルがあります。生物多様性のたくさんの恵みによって、私たち人間を含む生きものの「いのち」と「暮らし」が支えられています。

問 13 生物多様性を守るために市が重点的に取り組むべきことはどれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

1. 生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全
2. 河川や水路などの水辺の保全
3. 希少な動植物の生息・生育地の保全
4. カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止
5. 生物多様性の重要性やその保全に関する市民への普及啓発
6. 市民が自然と触れ合う機会・場をもっと設けること
7. 市民や市内事業者等が取り組む生物多様性の保全活動に対する支援
8. 特に取り組む必要はない
9. その他 ()

問 14 鎌ヶ谷市内の身近な自然や環境で、将来に残したい場所などを教えてください。具体的な地名とその理由を3つまでご記入ください。

地名	理由
例) 貝柄山公園	池の生きものや緑に身近にふれあえる。

◆鎌ヶ谷市の環境施策についてお伺いします◆

問 15 市が進めている環境に関する主な取組について、どのようなきっかけで情報を入手していますか。あてはまる番号をすべてを○で囲んでください。

1. 広報かまがや
2. 鎌ヶ谷市の HP を閲覧したとき
3. 市施設を利用した際のチラシ等
4. 友人・知人から
5. 学校から
6. その他 ()

整理番号

鎌ヶ谷市の環境についての事業者アンケート調査

事業者の皆様には、日ごろより、鎌ヶ谷市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、「鎌ヶ谷市環境基本計画」と「地球温暖化対策実行計画（区域施策）」を策定し、環境の保全と地球温暖化対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、昨今の国内外の気候変動対策の変化を受け、「地球温暖化対策実行計画（区域施策）」を包含した令和5年度を初年度とする「鎌ヶ谷市第3次環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、事業者の皆様から、環境活動への取組状況や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月8日

鎌ヶ谷市長 芝田 裕美

- ◆ 鎌ヶ谷市内の事業所から200事業所を無作為に抽出しています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、貴事業所が特定されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、事業者を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、事業者を特定するものではありません。
- ◆ 本アンケートの結果は、市のホームページなどで公表します。

ご回答の方法

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/itYTNaumoK7US7xNA>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、**10月29日(金)**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

鎌ヶ谷市市民生活部環境課環境計画係

〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-6-1

電話：(047) 445-1227 F A X：(047) 445-1400

◆貴事業所のことについてお伺いします◆

問1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を1つだけ○(兼業の場合、売り上げの割合が高いもの)で囲んでください。

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|---------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 | 4. 電気・ガス・熱供給業 |
| 5. 情報通信業 | 6. 運輸業 | 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 |
| 9. 不動産業 | 10. 飲食・宿泊業 | 11. 医療・福祉 | 12. 教育・学習支援業 |
| 13. サービス業 | 14. その他 () | | |

問2 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1~9人 | 2. 10~19人 | 3. 20~29人 |
| 5. 30~49人 | 6. 50~99人 | 7. 100人以上 |

問3 貴事業所の所在地について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 北部地域 | 2. 西部地域 | 3. 中央東地域 | 4. 中央地域 |
| 5. 東部地域 | 6. 南部地域 | | |

※地域は、以下をご参照ください。

地域名	区分の目安
1. 北部地域	佐津間、軽井沢、粟野、西佐津間、中佐津間、南佐津間等を含み、市の北部にあって、柏市、松戸市、白井市に隣接
2. 西部地域	くぬぎ山、初富、粟野等を含み、市の北西にあって、松戸市に隣接
3. 中央東地域	初富、東初富、南初富、東鎌ヶ谷等を含み、白井市、船橋市に隣接
4. 中央地域	中央、富岡、道野辺本町、初富本町等を含み、市の中央部に位置
5. 東部地域	鎌ヶ谷、南鎌ヶ谷、東道野辺を含み、船橋市に隣接
6. 南部地域	中沢、東中沢、道野辺、西道野辺、北中沢、馬込沢等を含み、船橋市、市川市に隣接

問4 貴事業所の建物の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1. 所有物件(事業所独立) | 2. 所有物件(自宅と兼用) | 3. 賃貸、テナント |
|----------------|----------------|------------|

問5 貴事業所が鎌ヶ谷市で事業を始められてから何年になりますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年~9年 | 3. 10年~19年 |
| 4. 20年~29年 | 5. 30年以上 | |

◆ 貴事業所の環境活動についてお伺いします ◆

問6-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。

項 目	既に取り組んでいる	取組を検討中	取り組む予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① 大気汚染防止（設備等の設置など）	1	2	3	4
② 排水対策の実施	1	2	3	4
③ 防音対策の実施（低騒音型機器の導入など）	1	2	3	4
④ 悪臭防止対策の実施	1	2	3	4
⑤ 有害物質の使用削減	1	2	3	4
⑥ 事業所敷地内や周辺の自然環境の保全・再生	1	2	3	4
⑦ 温室効果ガス排出量の把握・抑制	1	2	3	4
⑧ 特定フロンの使用削減	1	2	3	4
⑨ 電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践	1	2	3	4
⑩ 省エネルギー診断等の受診	1	2	3	4
⑪ 水の有効利用（雨水利用等）	1	2	3	4
⑫ エコ・ドライブの実践	1	2	3	4
⑬ 共同輸配送等の物流の合理化	1	2	3	4
⑭ 廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
⑮ 使用済み製品や容器等の回収	1	2	3	4
⑯ 自社製品のリサイクル	1	2	3	4
⑰ 食品ロスの削減	1	2	3	4
⑱ プラスチックごみの削減・代替品の検討	1	2	3	4
⑲ 環境にやさしい商品の開発	1	2	3	4
⑳ ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS（環境マネジメントシステム）の導入	1	2	3	4
㉑ 社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
㉒ 環境情報の開示（CSR レポート等）	1	2	3	4
㉓ SBT（Science Based Targets 科学的根拠に基づいた排出削減目標）の認定取得	1	2	3	4
㉔ RE100（Renewable Energy 100%）への参画	1	2	3	4

問6-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

問7 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1～4の中から 1つだけ○で囲んでください。

項 目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、 関心はある	導入予定は ない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
②	高効率ボイラー、モーターなどの動力機	1	2	3	4
③	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなどの高効率空調機	1	2	3	4
④	冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御	1	2	3	4
⑤	コージェネレーションシステム	1	2	3	4
⑥	建築物の省エネ性能の向上	1	2	3	4
⑦	高効率な自家発電設備	1	2	3	4
⑧	BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)	1	2	3	4
⑨	PHV(プラグイン・ハイブリッド・カー)及び電気自動車	1	2	3	4
⑩	燃料電池自動車(水素自動車)	1	2	3	4
⑪	太陽光発電システム	1	2	3	4
⑫	蓄電池システム	1	2	3	4
⑬	再生可能エネルギーなどを電源としたCO ₂ 排出係数の低い電力会社の利用	1	2	3	4
⑭	カーボンオフセットの利用(オフセット・クレジットの購入)	1	2	3	4
⑮	その他()	1	2	3	4

問8 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

1. 企業イメージ・信用性の向上
2. 業務の効率化によるコスト削減
3. 提供している製品・サービスの品質向上
4. 提供している製品・サービスの売上向上
5. 従業員の環境意識の向上
6. 特に効果はない
7. その他 ()

問9 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

1. 消費者・利用者の環境に対する理解向上
2. 取引先の環境に対する理解向上
3. 従業員の環境に対する理解向上
4. 環境に関する情報の不足
5. コスト的な問題
6. 人材不足
7. 環境活動推進のための組織体制の整備
8. 企業間の協力・連携体制
9. 課題は特にない
10. その他 ()

問10 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

1. 市のホームページや広報等での環境情報提供の充実
2. 事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催
3. 事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度
4. 環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）
5. 事業所の環境活動をPRする場の提供（イベントやキャンペーンの実施）
6. 事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供
7. 産・学・民・官の協働による環境活動推進体制の整備
8. 事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成
9. 特になし
10. その他 ()

◆気候変動についてお伺いします◆

問 14 日本では、「2050 年までのカーボンニュートラル」を目指すとともに、地球温暖化対策を新たな成長戦略として位置づけ、取組を加速することとしています。事業所では脱炭素経営への転換が求められています。脱炭素経営のことについて、知っていますか。あてはまる番号を 1 つだけ選んで、○で囲んでください。

1. 知っており、内容もよく理解している
2. 聞いたことはあるが詳しい内容は知らなかった
3. 全く知らなかった（初めて知った）

脱炭素経営とは？

脱炭素経営とは、事業所から排出される温室効果ガスを実質ゼロに近づけ、カーボンニュートラル[※]を目指すことです。国内外において、事業者の格付けや投資家及び消費者からの信用・支持の基準としても注目されており、これらは大企業のみではなく、サプライチェーン全体として取り組むことが必要とされています。地域の事業者においても、資金調達（融資、補助金等）でのメリットがあるほか、法改正に伴い対応が迫られることが予想されます。持続的な企業経営と競争力確保のためにも、今後取り組むべきものとして求められています。

環境省のホームページに、脱炭素経営推進のための各種ガイドブックが掲載されています。

<http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei.html>

※人為的に排出される CO₂（二酸化炭素）と森林などで吸収される CO₂（二酸化炭素）が同じ量となること。

問 15 気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思えますか。あてはまる番号を 5 つまで○で囲んでください。

1. 気候変動に関する情報提供・PRの充実
2. 太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実
3. 事業所の太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する優遇措置（税制等）の充実
4. 市施設や市内への再生可能エネルギーの活用
5. 太陽光や事業所排熱等エネルギーを面的・効率的に利用できるまちづくり
6. 屋上緑化や壁面緑化など建物の緑化に対する助成等の充実
7. ごみの減量・資源化の推進
8. 市民・事業者・市の連携による温室効果ガス排出抑制や削減のための仕組みづくり
9. 気候変動対策を積極的に活動している市民団体や事業所等を応援する制度
10. グリーンインフラの活用
11. 風水害（洪水、ゲリラ豪雨など）への対策強化
12. 熱中症・デング熱などの感染症対策
13. その他（）

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

--

アンケートの質問は以上となります。
ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、
令和3年10月29日（金）までにご投函ください。

今後、市では新たな環境基本計画の策定を行うにあたり、より多くの方から広くご意見を伺う機会を設けたいと考えています。

ご関心のある事業所様は、お差支えない範囲で下記にご連絡先をご記入ください。
市よりご連絡させて頂く場合がございます。

① 貴事業所名：

② 御担当部署・御担当者：

③ 所在地：

④ ご連絡先（e-mail）：

